

# がん医療者とがん患者団体との連携と協働

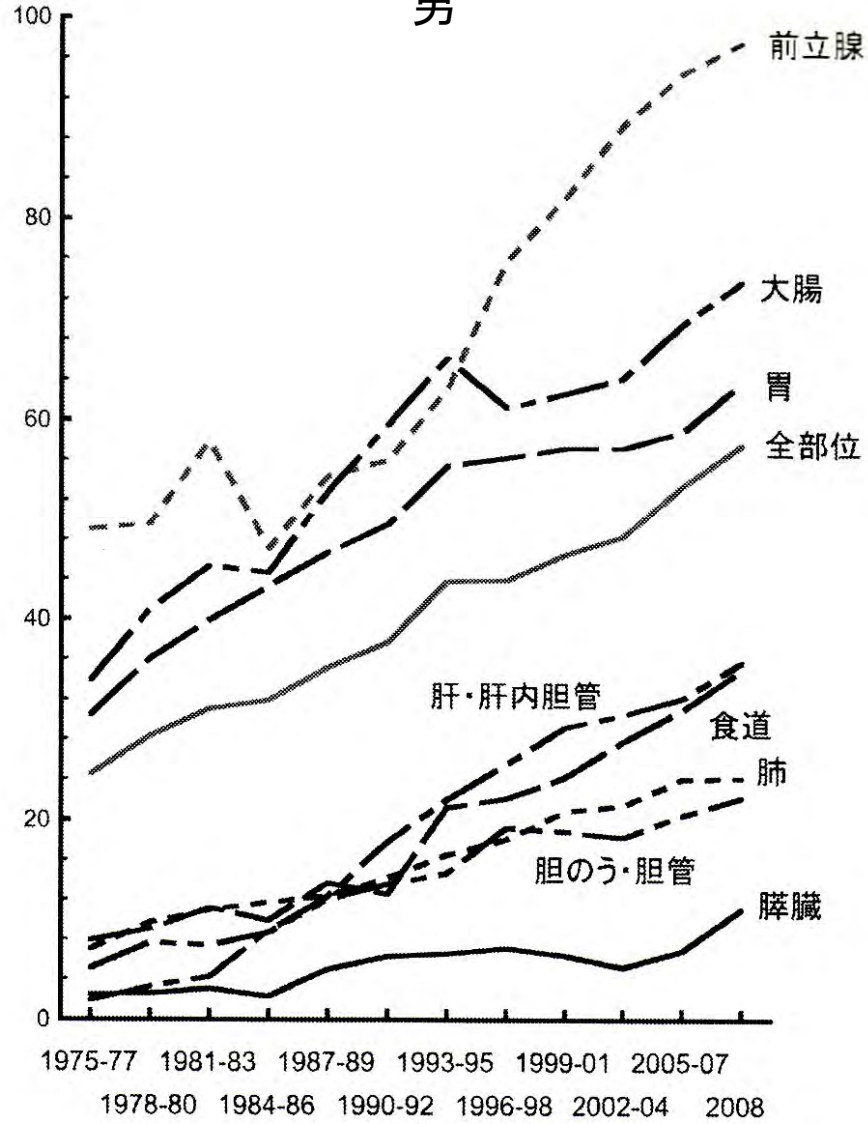
松浦成昭

大阪府立成人病センター 総長  
(大阪府がん診療連携協議会長)  
全国がんプロ協議会 会長

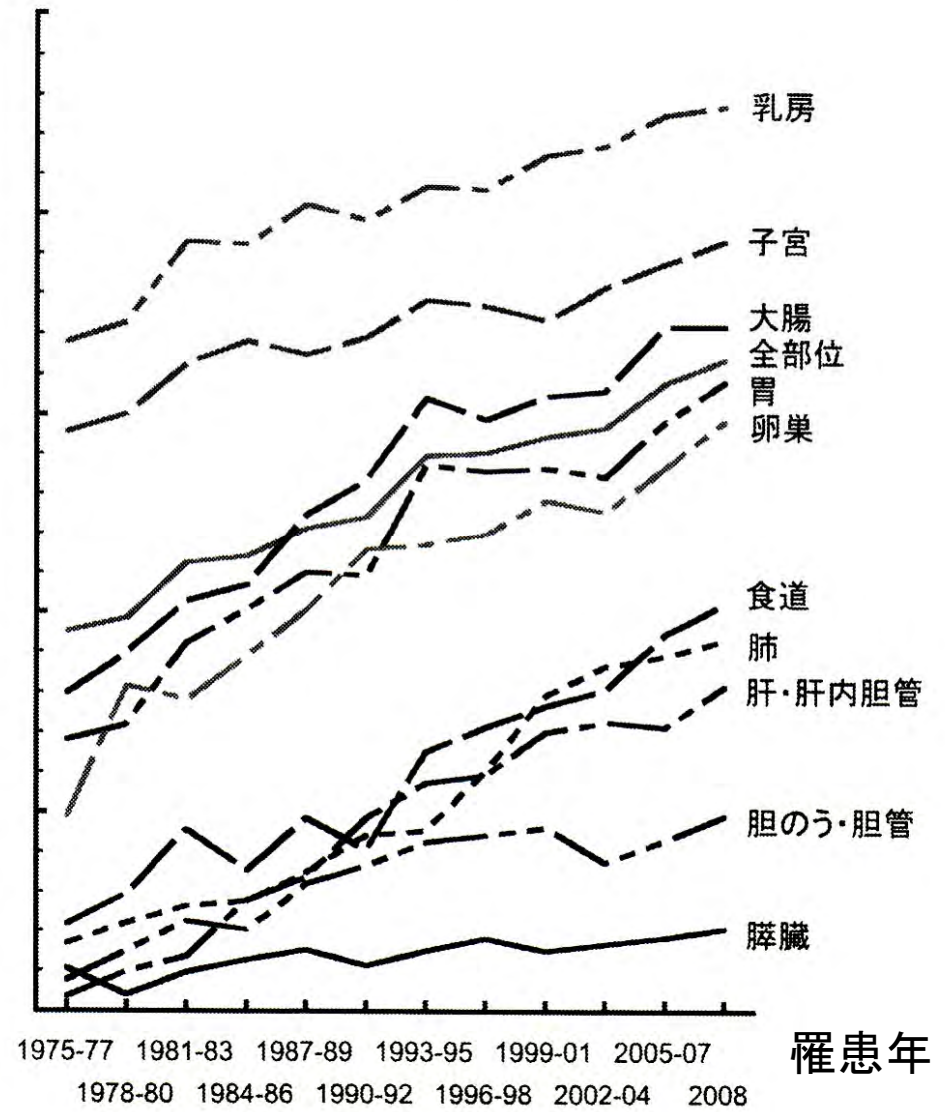
# 5年相対生存率の年次推移(大阪府)

生存率

男



女

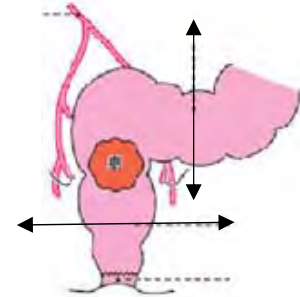
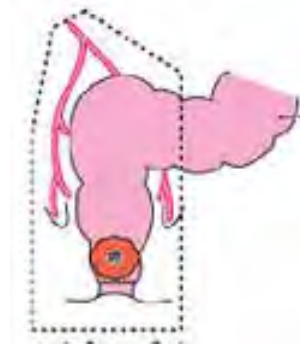
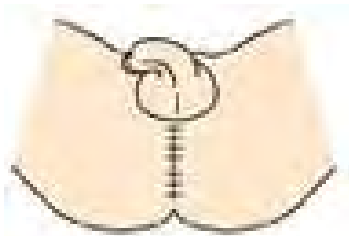


罹患年

# 直腸癌の手術

腹会陰式直腸切断術  
↓  
低位前方切除術

開腹手術  
↓  
腹腔鏡手術



# がんの医療の変遷

「不治の病」

半数以上治癒する時代

低い罹患率

2人に1人が罹患

悪いイメージ

誰でもなりうる病気

ガン

がん

本当のことを言わない

必ず告知

治すことだけに全力

治すだけでよいのか

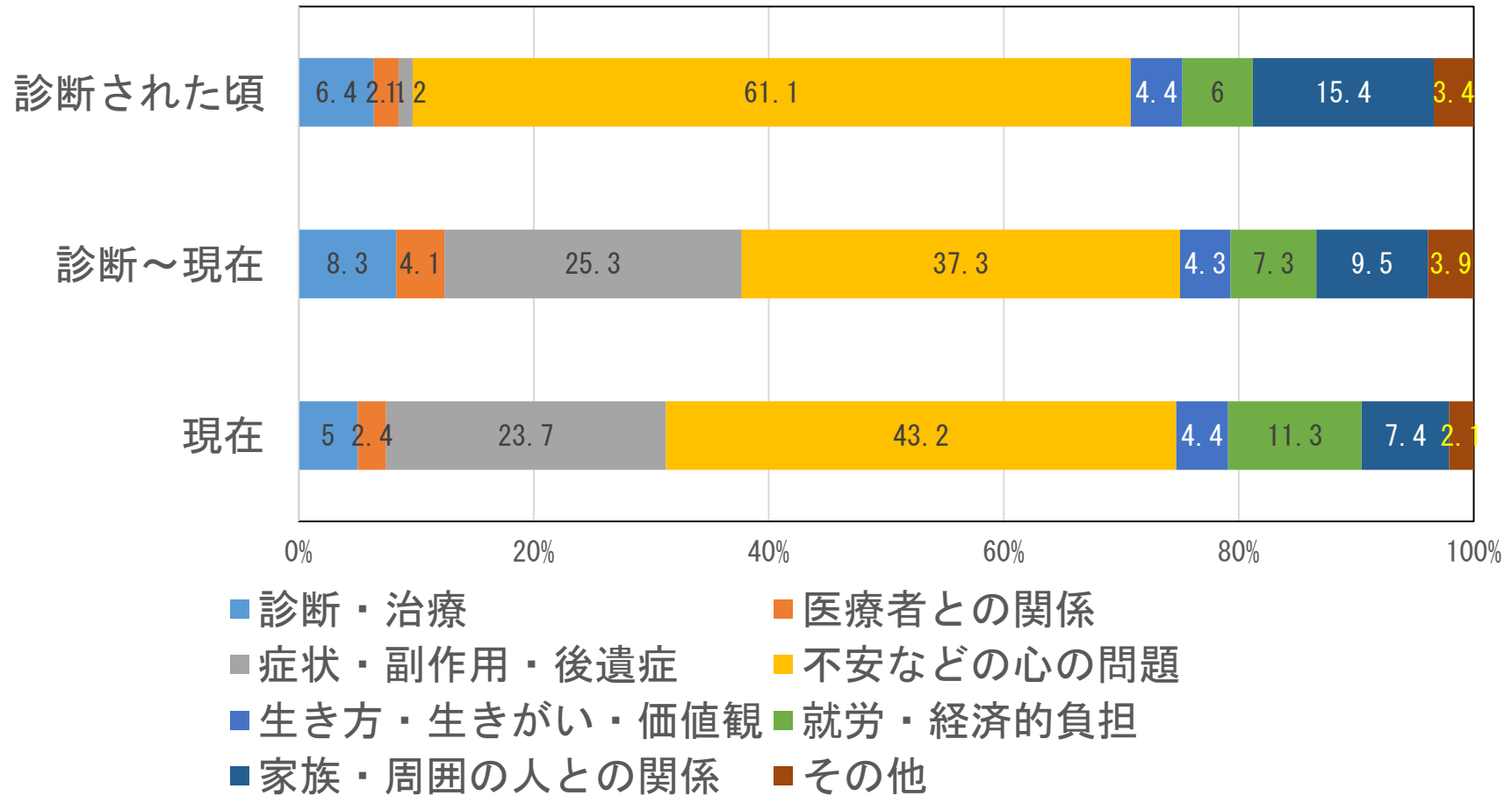
医療者だけで決める

患者さんの意向を尊重

体験者が少数

サバイバーが経験を伝えられる

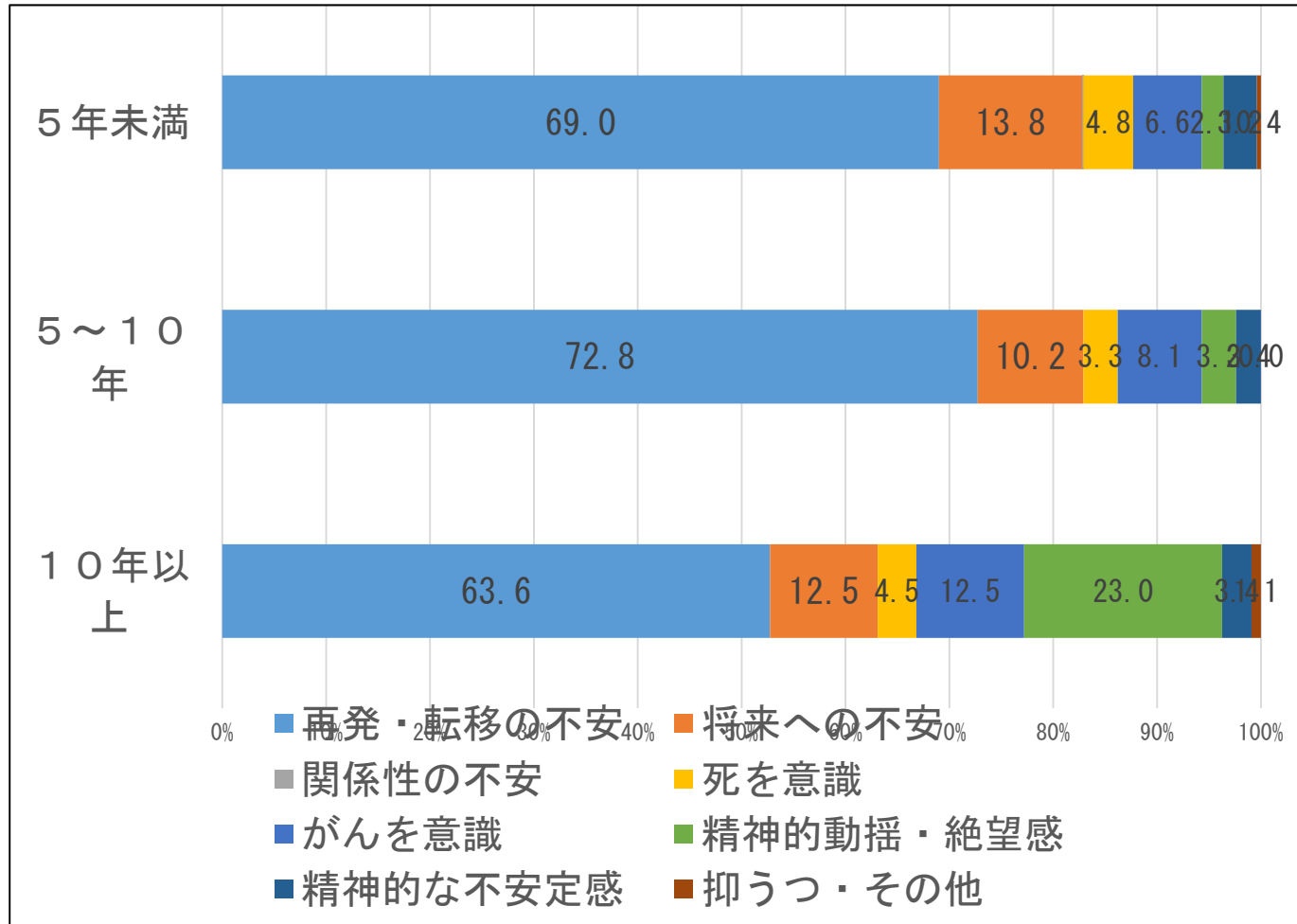
# がんの各時期で悩みや負担に感じていること



がんと向き合った7885人の声(厚労省がんの社会学に関する合同研究班)

診断時で61.1%を占めていた「不安などの心の問題」は経過とともに減少していき、「症状・副作用・後遺症」が顕著に増加している

## 再発・転移のない患者の心の問題（経過年数別）



経過年数が5年、10年以上でも再発・転移の不安を感じている人が多い

がんと向き合った7885人の声  
（厚労省がんの社会学に関する合同研究班）

# がん対策推進基本計画（平成24年6月）

## 2 がんに関する相談支援と情報提供

- がん患者の不安や悩みを軽減するためには、がんを経験した者もがん患者に対する相談支援に参加することが必要であることから、国と地方公共団体等は、ピア・サポートを推進するための研修を実施するなど、**がん患者・経験者との協働を進め、ピア・サポートをさらに充実**するよう努める。

# 大阪府がん対策推進条例(平成23年 4月)

(大阪府がん対策推進委員会)

第十七条 がん対策に関し、次に掲げる事項を処理するため、地方自治法第138条の4第3項に基づく知事の附属機関として、大阪府がん対策推進委員会を置く。

2 委員は、**がん患者及びその家族等で構成される民間団体を代表とする者**、保健医療関係者、学識経験者、関係行政機関の職員、その他適当と認める者のうち**から知事が任命する。**

⇒委員実人数 71人中 **患者会委員 8人**



# 大阪府がん対策推進条例(平成23年 4月)

(府民運動の推進)

第十八条 府は、保健医療関係者、**がん患者及びその家族等で構成される民間団体**その他の関係団体、民間企業と**幅広く連携**し、がん対策に対する府民の理解と関心を深めるための取組を推進するものとする。

# 第二期大阪府がん対策推進計画（平成25年3月）

- 患者・家族との意見交換、就労支援
- 患者・家族の視点にたったがん対策を推進するためには、**がん患者・家族の意見を踏まえることが重要**。
- 府は、がん患者をはじめとする関係者と、がん対策の現状や方向性について**継続的に意見交換**を実施。
- また、このような取組を通じて、がん以外の患者へも配慮しつつ、がん患者・経験者の就労をはじめとする社会的な問題に関する**ニーズ・課題を把握**し、関係部局と連携しながら**取組方策について検討**。

# がん診療連携拠点病院の要件

(平成26年1月)

## 4 情報の収集提供体制

### (1) 相談支援センター（相談支援を行う機能を有する部門）

- ・ 患者と家族のニーズが多様化している中、より活用しやすい相談支援体制を早期に実現することを目標（がん対策推進基本計画）
- ・ 適切な体制を確保（①～⑥）した上で、以下の業務（ア～セ）を行うこと
- ・ 相談支援センターについて積極的に周知すること

② ア 相談支援に関し十分な経験を有するがん患者団体との連携協力体制の構築に積極的に取り組んでいる。

○ 相談支援センターの業務（ア～セ）

コ 医療関係者と患者会等が共同で運営するサポートグループ活動や患者サロンの定期開催等の患者活動に対する支援をしている

# 地域のがん情報

	相談			医療機関				予防・検診			療養			交流			統計	計画・条例		
	ホームページ	がん相談支援センター	拠点病院以外のがんに関する相談窓口	がん拠点病院	がん地域連携クリティカルパス	セカンドオピニオン	がん診療対応医療機関	がん検診	たばこ対策	市町村窓口	療養に関する情報	就労に関する情報	行政窓口情報	患者サロン	患者会	イベント	がん統計	がん対策推進計画	保健医療計画	条例等その他のがん関連施策
情報を入手できる都道府県数	46	43	26	46	39	26	44	45	43	43	37	19	17	33	34	33	44	47	47	35
滋賀県	●	●	●	●	●	●	○	●	●	●	●			●	●	●	●	●	●	●
京都府	●	●	●	●	●		○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
大阪府	●	●		●	●		○	●	●	●	●	●					●	●	●	●
兵庫県	●	●		●	●	●	●	●	●	●				●			○	●	●	
奈良県	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
和歌山県	●	●		●	●	●	○	●	●	●	●			●			●	●	●	●

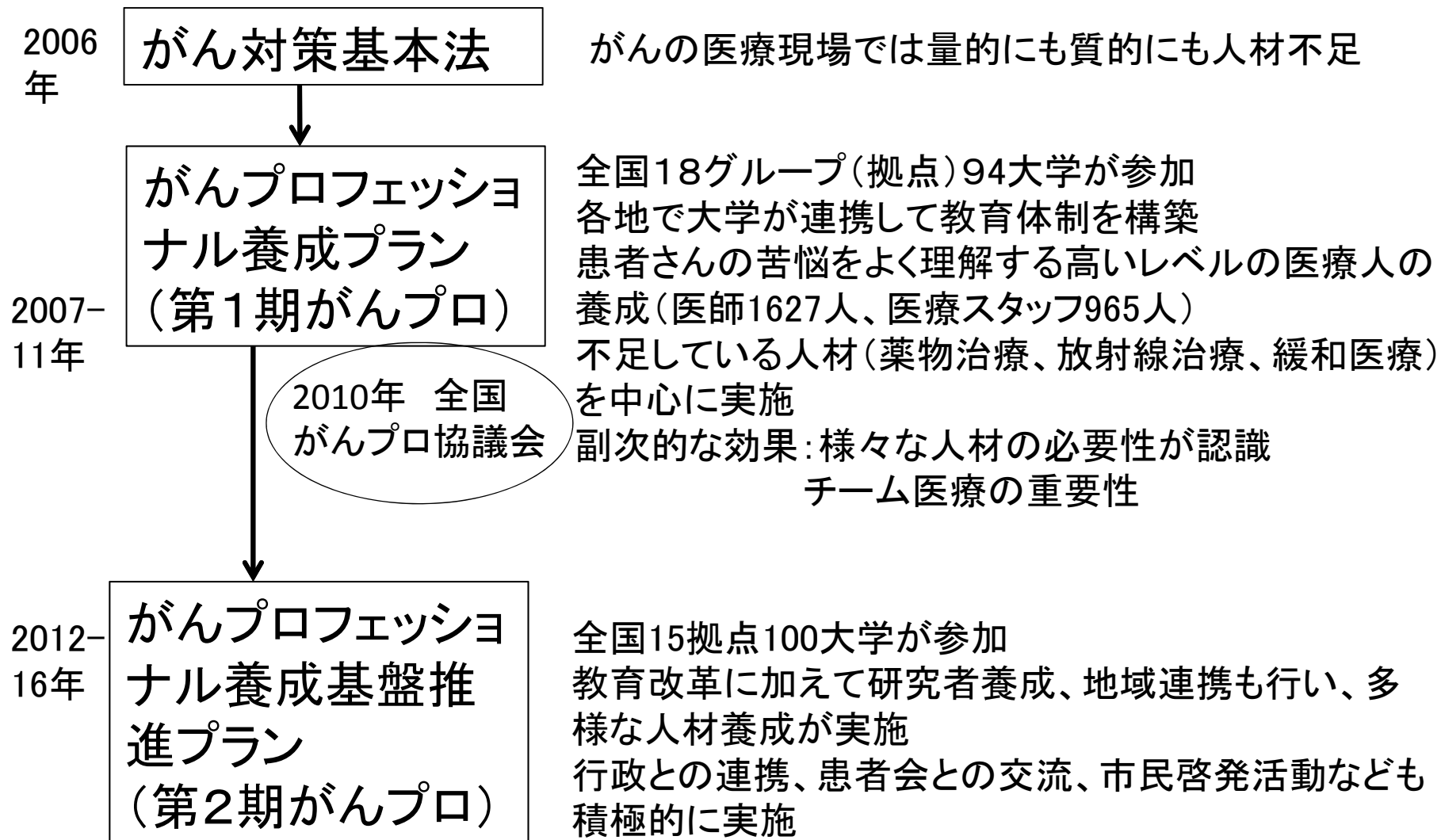
# がんプロとは

がんプロフェSSIONAL養成プラン(2007-11年)

がんプロフェSSIONAL養成基盤推進プラン(2012年-)

- ・2006年に制定されたがん対策基本法第14条、2007年のがん対策基本計画の重点課題に定められているがん医療専門職の人材養成事業
- ・医療は人が行うものであり、がんの医療にも色々な人材が必要だが、がんの医療現場では質的にも量的にも人材が不足している現状を反映
- ・文部科学省の大学改革推進事業として2007年から18グループ94大学が全国各地で、がん医療に必要な人材の養成とそのための教育基盤の構築・整備を実施
- ・大学院教育で医療スタッフの専門職を養成するとともに、大学院以外の人材養成もインテンシブコースで実施
- ・2012年から第2期がんプロが新規事業として開始、教育改革に加えて、研究者養成、地域連携も含んだ幅広い人材育成を実施

# がんプロの歩み



# 新規がんプロ拠点大学マップ

**【参画大学】**  
15拠点100大学  
(国44公17私39)

**金沢大学**  
富山大学、金沢医科大学、石川県立看護大学、福井大学

**東京医科歯科大学**  
弘前大学、秋田大学、東京医科大学、東京工業大学、東京薬科大学

**札幌医科大学**  
北海道大学、旭川医科大学、北海道医療大学

**東北大学**  
山形大学、福島県立医科大学、新潟大学

**大阪大学**  
大阪薬科大学、京都府立医科大学、兵庫県立大学、神戸薬科大学、奈良県立医科大学、和歌山県立医科大学

**京都大学**  
三重大学、滋賀医科大学、京都薬科大学、大阪医科大学

**順天堂大学**  
岩手医科大学、東京理科大学、明治薬科大学、立教大学、鳥取大学、島根大学

**筑波大学**  
茨城県立医療大学、獨協医科大学、群馬大学、群馬県立県民健康科学大学、埼玉医科大学、千葉大学、日本医科大学

**岡山大学**  
川崎医科大学、広島大学、山口大学、徳島大学、徳島文理大学、香川大学、愛媛大学、高知大学、高知県立大学

**東京女子医科大学**  
杏林大学、帝京大学、駒沢大学

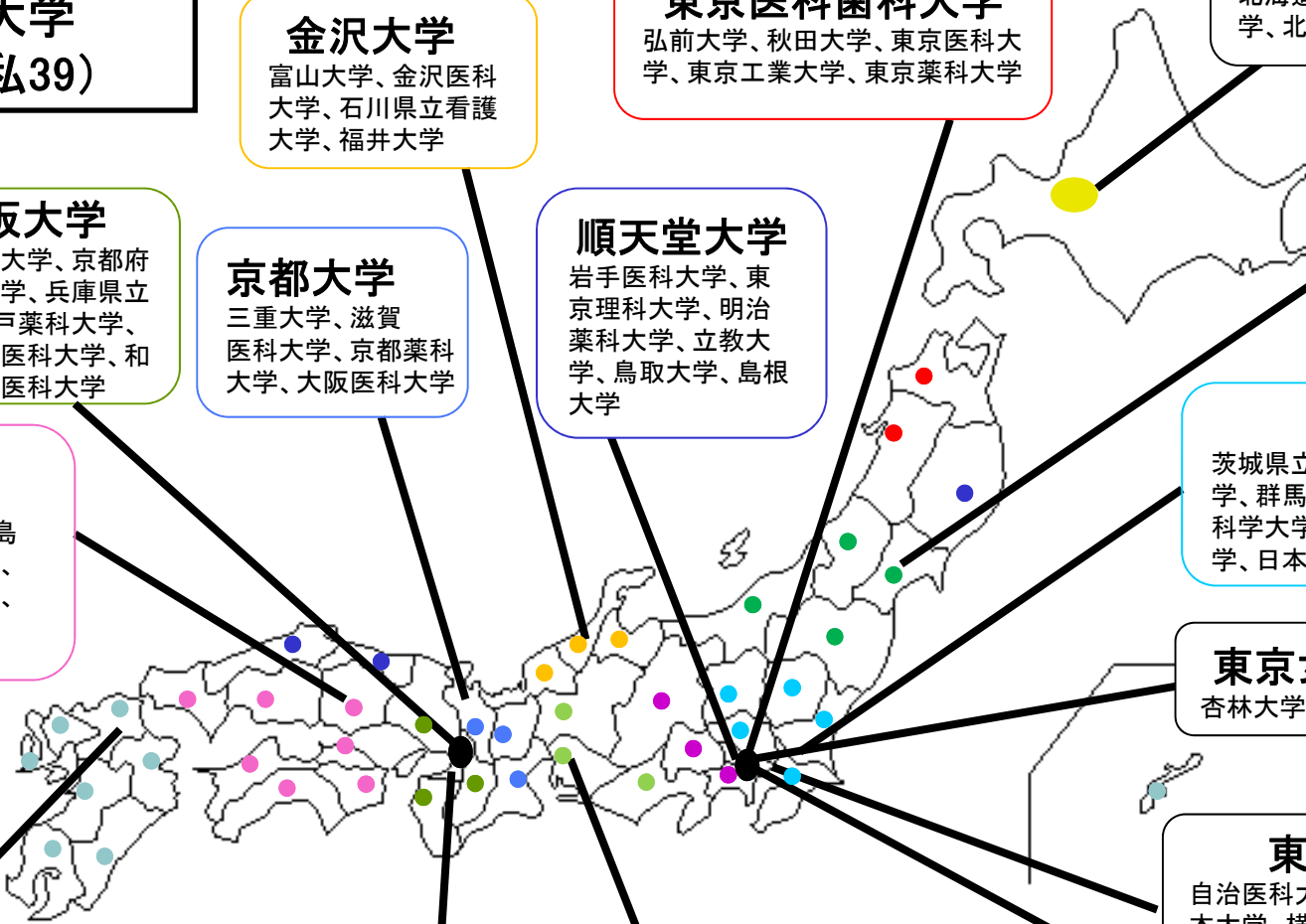
**東京大学**  
自治医科大学、東邦大学、日本大学、横浜市立大学

**九州大学**  
久留米大学、産業医科大学、福岡大学、福岡県立大学、佐賀大学、長崎大学、熊本大学、大分大学、宮崎大学、鹿児島大学、琉球大学

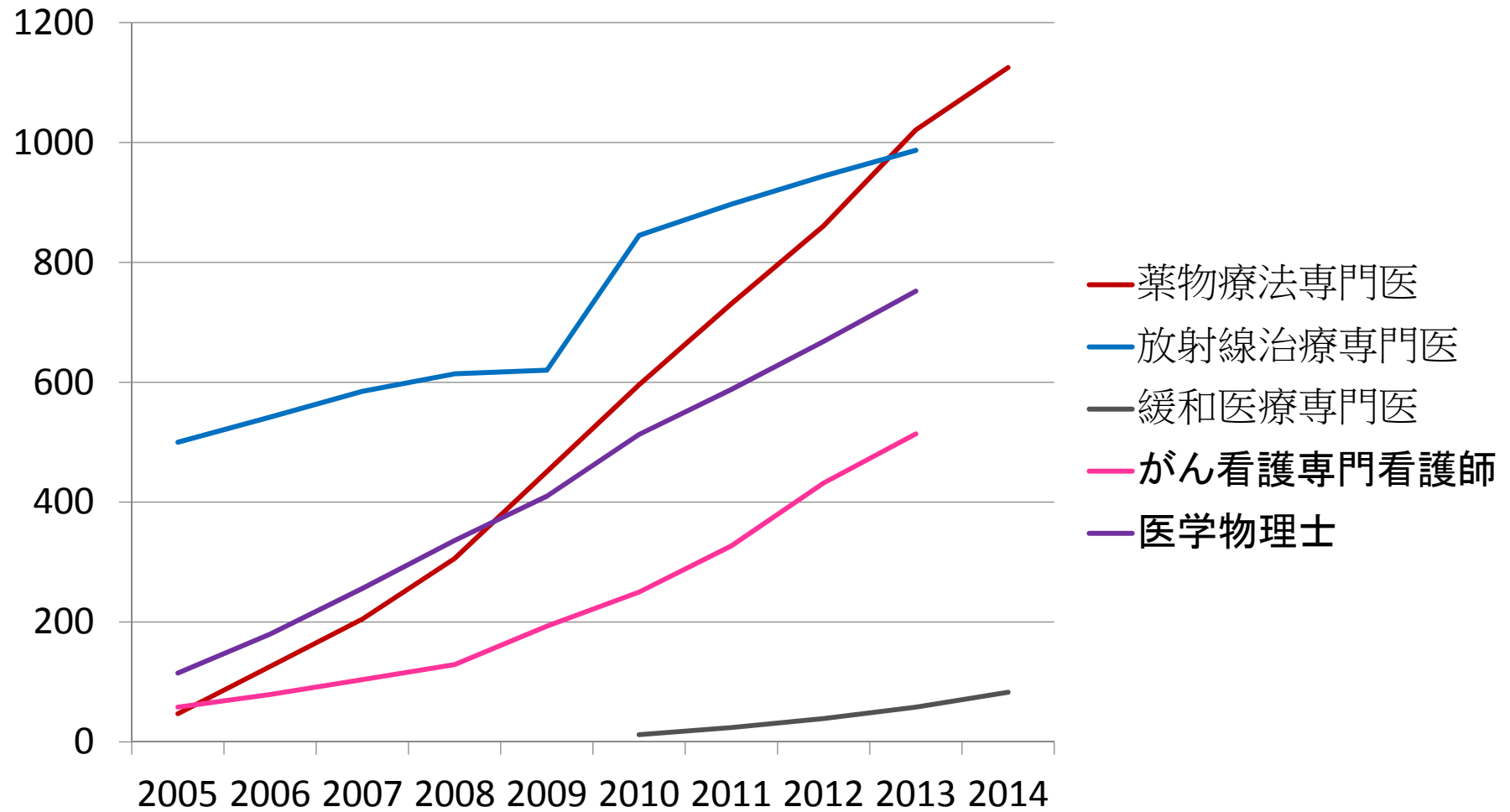
**近畿大学**  
大阪市立大学、大阪府立大学、関西医科大学、神戸大学、兵庫医科大学、神戸市立看護大学

**名古屋大学**  
岐阜大学、浜松医科大学、名古屋市立大学、愛知医科大学、藤田保健衛生大学、名城大学

**慶応義塾大学**  
国際医療福祉大学、東海大学、東京歯科大学、首都大学東京、聖路加看護大学、北里大学、聖マリアンナ医科大学、山梨大学、信州大学、



# 各がん医療専門職資格者の推移



↑  
がんプロ  
スタート



「地域・職種間連携を担うがん専門医療者養成」  
2013年連携7大学市民公開シンポジウム  
「がんとどう向き合うか」

10月15日(火) 14時開演(13:30開場)

会場:大阪大学中之島センター(10Fホール)

(大阪市北区中之島4-3-53 ☎06-6444-2100)

対象:一般市民、医療従事者 150名

参加費  
無料

第1部 基調講演

『がんは一人では立ち向かえない』

塚本けいこさん(落語家六代目笑福亭松喬夫人)

第2部 じゃじゃえ!本音バトル  
患者 VS 医療者

(患者から医療者へ、医療者から患者へ本音を  
ぶつけ合い、そこから見えてくるものは...)

(患者)

辻 恵美子(全がん患者会「ぎんなん」)  
伊坪 良 (全がん患者会「ルピナス」)  
中村 弘子(乳がん患者会「水琴窟の会」)  
渡邊 美紀(乳がん患者会「のぞみの会」)  
山本 ゆき(難治性がん「山本孝史のいのちのバトン」)

VS

(医療者)

恒藤 暁 (緩和医) 大阪大学  
内布 敦子(看護師) 兵庫県立大学  
岩川 精吾(薬剤師) 神戸薬科大学  
吉田 直久(消化器内科医) 京都府立医科大学

コーディネーター:松浦成昭(大阪大学事業推進責任者)

主催:文部科学省がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン  
大阪大学・京都府立医科大学・奈良県立医科大学  
兵庫県立大学・和歌山県立医科大学・大阪薬科大学  
神戸薬科大学

共催:「大阪がん医療の向上をめざす会」  
後援:大阪府(予定)・(公財)大阪対がん協会

電車によるアクセス  
京阪中之島線 中之島駅より 徒歩約5分  
阪神本線 福島駅より 徒歩約9分  
JR東西線 新福島駅より 徒歩約9分  
JR環状線 福島駅より 徒歩約12分  
地下鉄四つ橋線 肥後橋駅より 徒歩約10分  
地下鉄御堂筋線 淀屋橋駅より 徒歩約16分

お問い合わせ先  
大阪大学がんプロ事務局  
06-6879-2472

個別相談会 14:00~16:00

(302講義室) 15名程度

参加ご希望の方は

①ご氏名 ②FAX番号 ③電話番号  
④相談ご希望のがん ⑤ご質問  
を記入のうえ、下記FAX申込書もしくは  
往復ハガキまたはEメールにて事前にお申  
し込みください。順次、返信致しますのでそ  
れをもって受付完了とさせていただきます。  
(相談時間はおひとり様15分程度)

FAX: 06-6879-2629

Mail: siminkoukai1015@yahoo.co.jp

住所: 〒565-0871

大阪府吹田市山田丘1-7  
がんプロ事務局

締切: 10月1日(火)

お申し込みいただいた個人情報は参加登録のみに  
使用いたします。

個別相談FAX申込書

ご氏名 (カナ)	( )
FAX番号	
電話番号	
相談ご希望 のがん	
ご質問	

# さつき 歌と装いのハーモニー プログラム

平成22年

5月16日 開場 13:30  
開演 14:00 終演 16:30

会場 **ドーンセンター 7階ホール** 500席

大阪市中央区大手前1-3-49

主催 大阪がん医療の向上をめざす会

共催 がん政策情報センター「地域発：がん対策市民協働プログラム」

## ご協力者紹介

### 大阪大学大学院医学系研究科がんプロフェッショナル養成プラン

私たちは、大阪大学がんプロフェッショナル養成プラン（略してがんプロ）のチームです。がんプロとは、大阪大学・兵庫県立大学・和歌山県立医科大学・奈良県立医科大学・京都府立医科大学の5大学が連携し、がん医療の専門家（医師・看護師・薬剤師・医学物理士・細胞検査士）を育成している事業です。

今回のイベントには、がん看護専門看護師コースの教員・院生がファッション・ショーや合唱に、他の医療職が応援メッセージに参加しています。私たちは、がん患者さんやご家族がいろいろな悩みを抱えながらも力強く活動し、医療を変えていこうとされている姿にとっても感動し、患者さんやご家族が私たちを育ててくれるのだと実感しています。



## プログラム

総司会 塚本 けいこ

### 第一部 14:00 -

#### 応援メッセージ紹介 ～患者・家族の皆さんへ

あの先生から、この看護師さんからのエール

●がん拠点病院を中心に、30名以上の医師・看護師・メディカルソーシャルワーカーさん達の、笑顔と温かいエールを頂きました。外科、腫瘍内科、緩和チームや外来化学療法室、相談支援センターなどの方々には、会場の皆様にもおなじみのお顔がいらっしゃることでしよう。

### 第二部 -15:30

#### お役立ちファッション・ショー ～闘病・療養中の皆さんへ

生活を明るく彩るウェア、便利グッズの紹介

●機能性とデザインの融合。入院中の子供さんのパジャマや院内学級への登校着、成人男女の院内ファッションや乳がん患者さんの通院ファッションも登場します。車イスで20年ぶりの同窓会へ。愉快なお医者さんルックも。モデルさんたちもそれぞれがんと関わりをもち、キッズのモデルたちは、半年前に小児がんのため8歳で亡くなった田村結人（ゆうと）君への思いを胸に参加してくれました。

### 第三部 15:50 - 16:30

#### みんなで歌おうコンサート ～会場の皆さんも一緒に

あの病院から、この患者会から応援隊が続々登場！

- ♪ Madam・Keiko・たち
- ♪ 岡田淳 & Z a Z a (オカダアツシ アンド ザザ)
- ♪ 創作踊り 花 笑和の友
- ♪ めざす会合唱団
  - ♪ みかんの花咲く丘
  - ♪ 夏の思い出
  - ♪ フニクリフニクラ
- ♪ 会場の皆さんも一緒に歌いましょう！
  - ♪ 世界に一つだけの花



### ロビーにて 13:30 - 17:00

共催・参加患者会・協賛団体などによるがん情報ブースの展示



# がん患者からみて話しやすい医療者

- 親身になって寄り添ってくれた
- 話を聞いてもらえてうれしい
- 笑顔で対応してくれた
- 質問ありませんか？と聞いてくれた
- 一緒に頑張りましょう！と言ってくれた
- 丁寧に納得するまで説明してくれた
- 患者の立場にたって話してくれた
- 時間をかけて質問に正直に答えてくれた
- 乳がん体験者コーディネーターが話しやすかった
- 【信頼関係ができると話しやすくなり治療も前向きになる】

関西7大学がんプロ 大学院生研修会 特別講演 石井浩子氏（いきいき和歌山がんサポート）「がん患者からみた話しやすい医療者とは？」より

# がん患者からみて話しにくい医療者

- 忙しそうにしている
- 感情的になる
- 私のことを否定された
- 医学用語がわからない
- 笑顔がない、無言
- マスク姿では表情がわからず話しにくい
- ★患者は常に遠慮し、受け身で考える
- ★診察室のなかでは患者と医師は対等ではない
- ★不安や副作用で普通の判断ができにくくなっている

関西7大学がんプロ 大学院生研修会 特別講演 石井浩子氏（いきいき和歌山がんサポート）「がん患者からみた話しやすい医療者とは？」より

# 課題

- どうやったらコミュニケーションがとりやすくなるか？
- 医療者の立場では
- 時間的に無理なこともある
- 性格上(患者との相性)無理なこともある
- 

患者も努力が必要

質問内容を整理しておく

何度も同じことを質問しない

別に時間を取ってもらうか、担当者につないでもらう

自分で正しい情報を得る方法を知る

**患者同士の支え合い(ピアサポート)が大切**

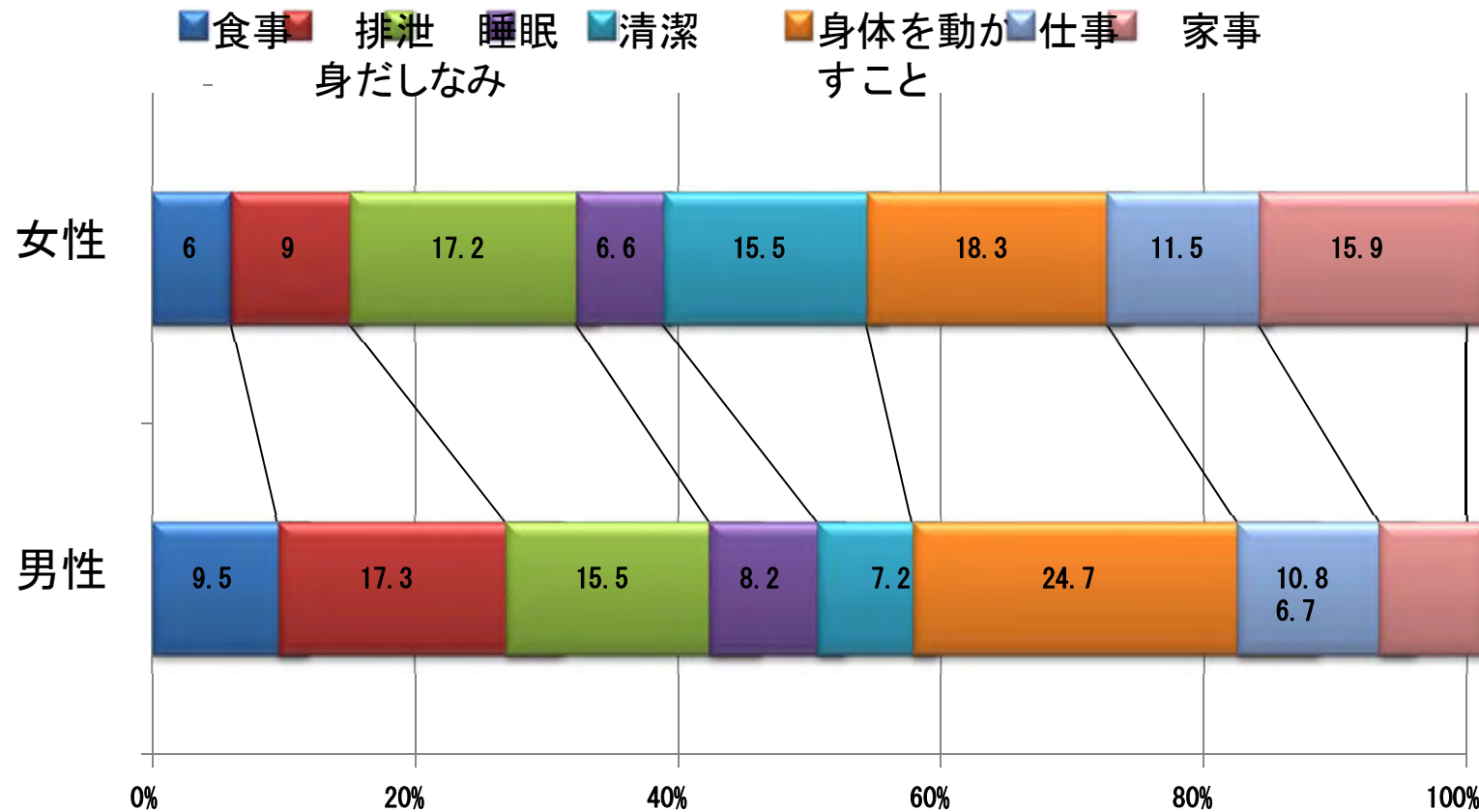
関西7大学がんプロ 大学院生研修会 特別講演 石井浩子氏(いきいき和歌山がんサポート) 「がん患者からみた話しやすい医療者とは？」より

## まとめ

- ・がんの治療成績がよくなりサバイバーが増えてきました。がん経験者は次のがん患者に、医療面～日常生活～悩みなどに対して自分の体験を通じた情報を与えて頂きたいと思います。
- ・医療者側はがん経験者の声を聴き、学んでいく必要があります。また、その声を医療行政に取り入れていくことも必要です。
- ・がん経験者は特に明日のがん医療をになう人材に対して、自分の体験を語って、教育にも参加頂きたいと思います。
- ・がん患者団体と医療側の緊密な連携と協働が重要です。



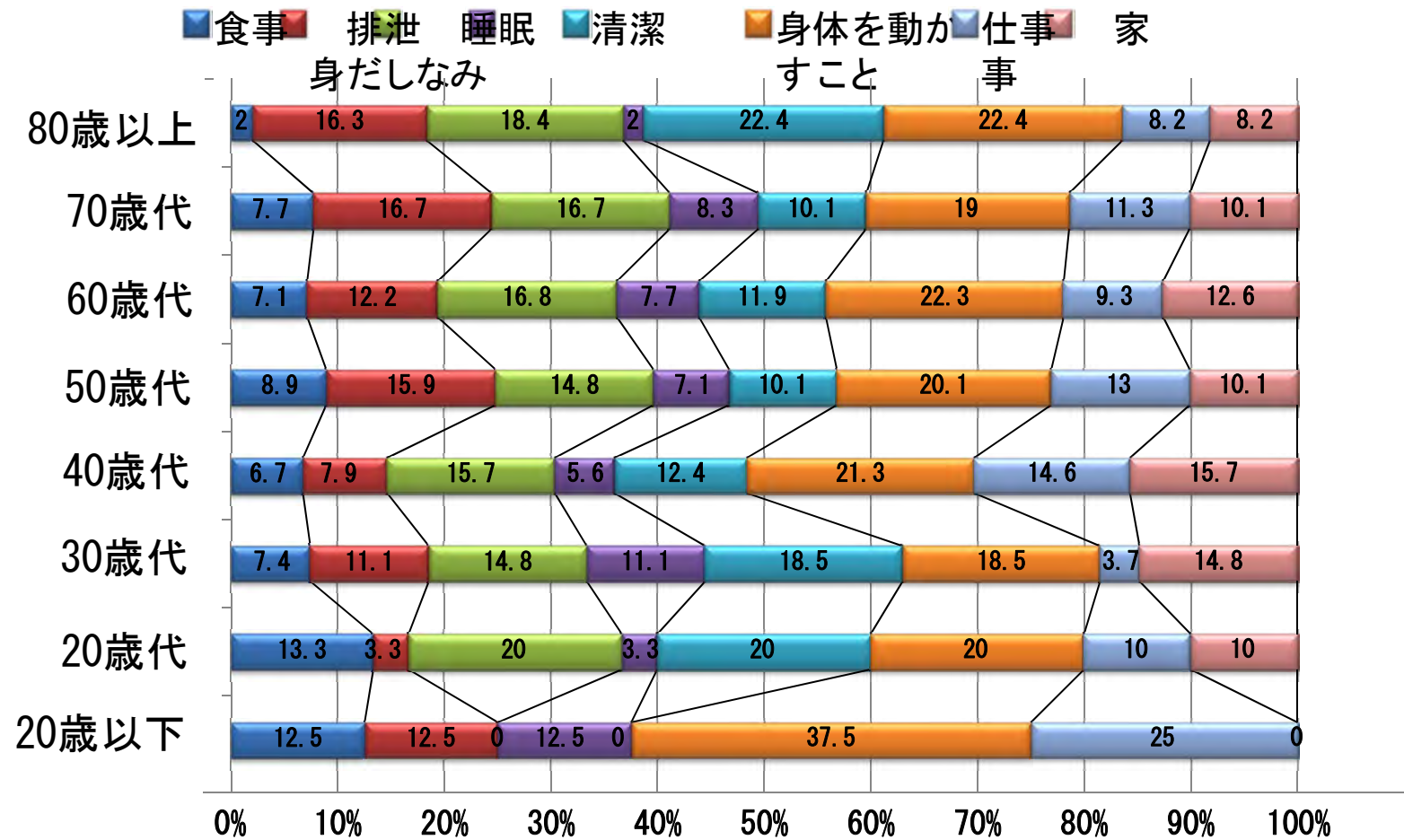
# がん患者の感じる生活上の不便さ（性別）



国立がんセンター中央病院看護部調査  
(2012年)



# がん患者の感じる生活上の不便さ（年代別）

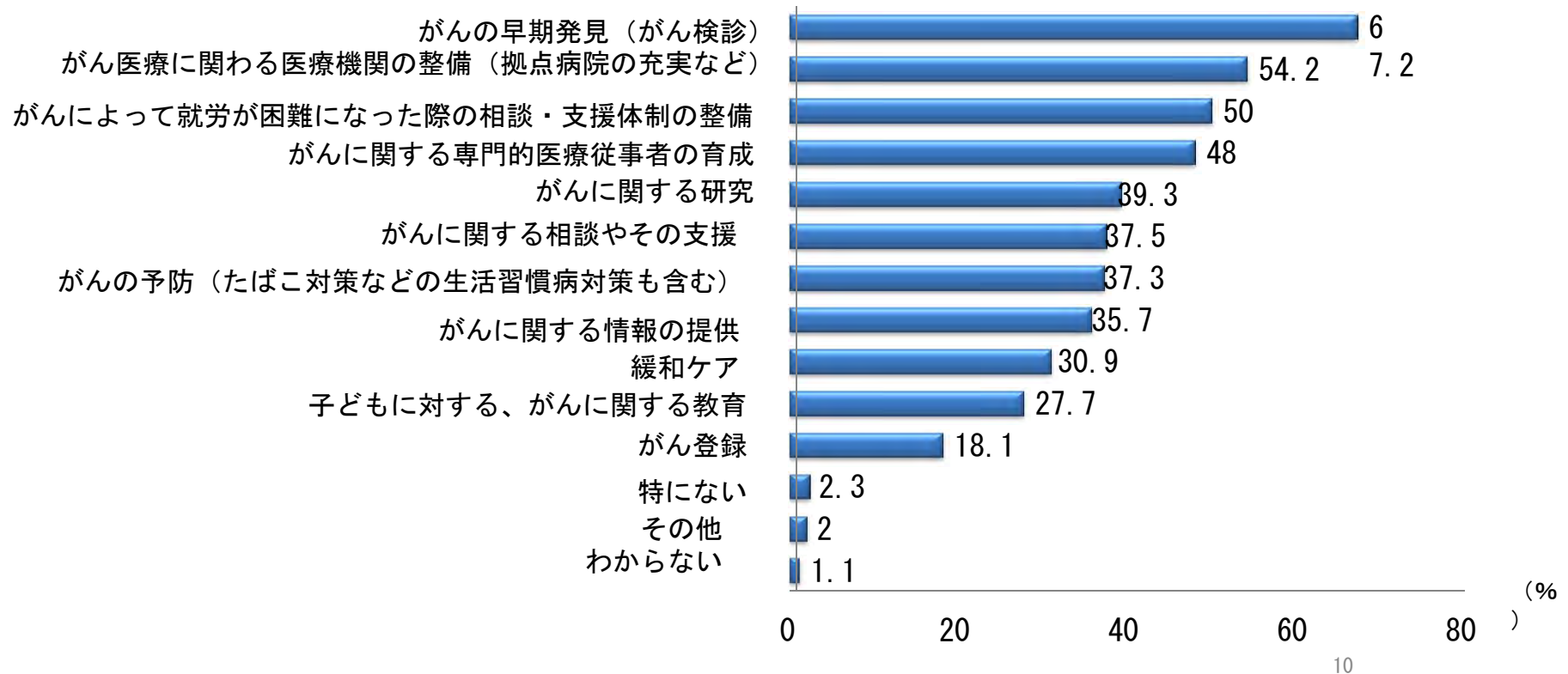


国立がんセンター中央  
病院看護部調査（2012  
年）

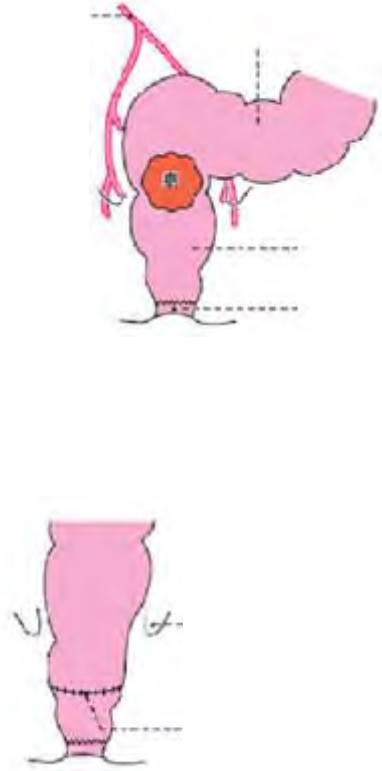
# がん対策に関する政府に対する要望

(がん対策について、政府としてどういったことに力をいれてほしいと思うかと質問) 【複数回答可】

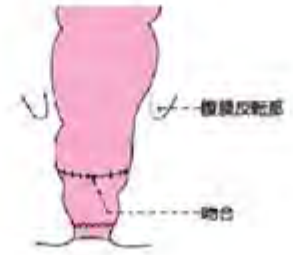
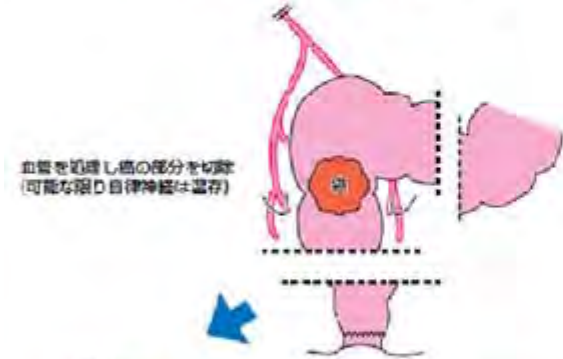
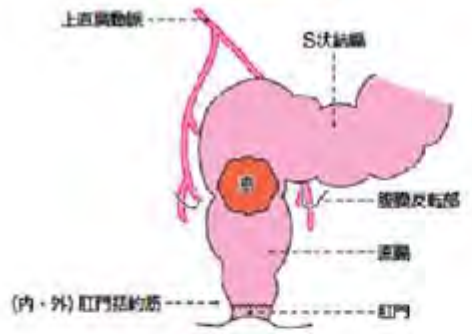
【n=1883】

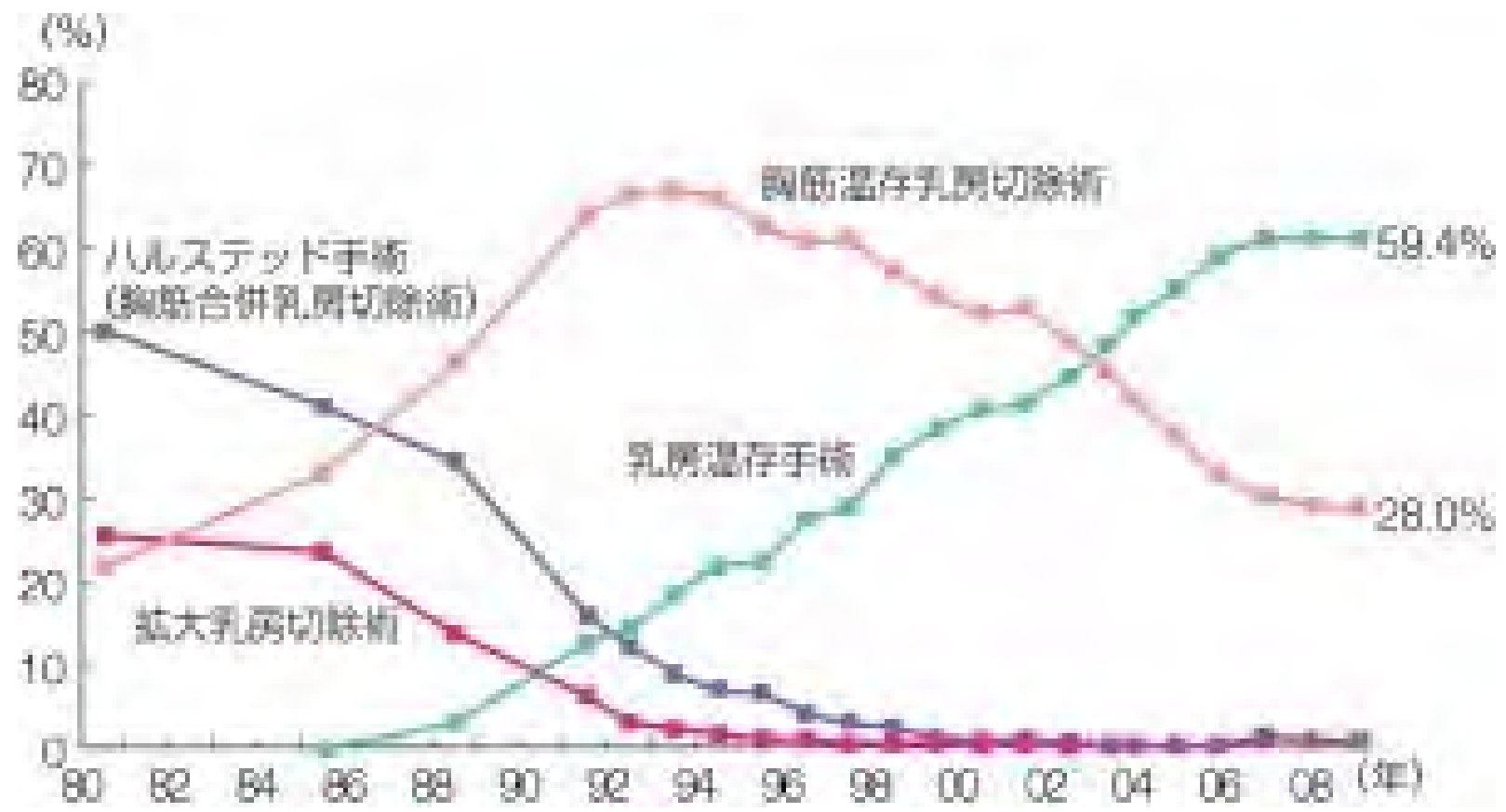


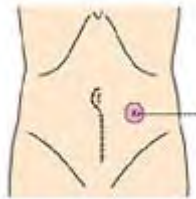
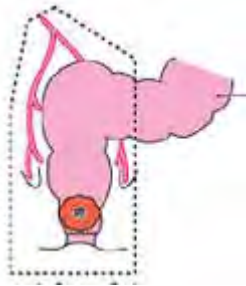
出典：内閣府 がん対策に関する世論調査  
(平成25年1月調査)



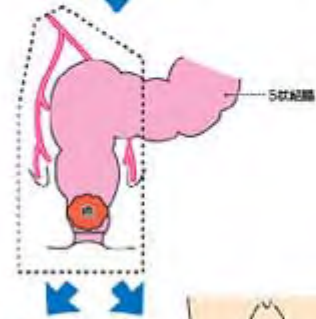
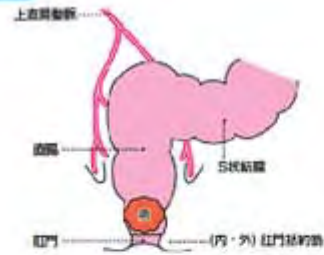
前方切除術



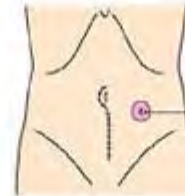




直腸切断術



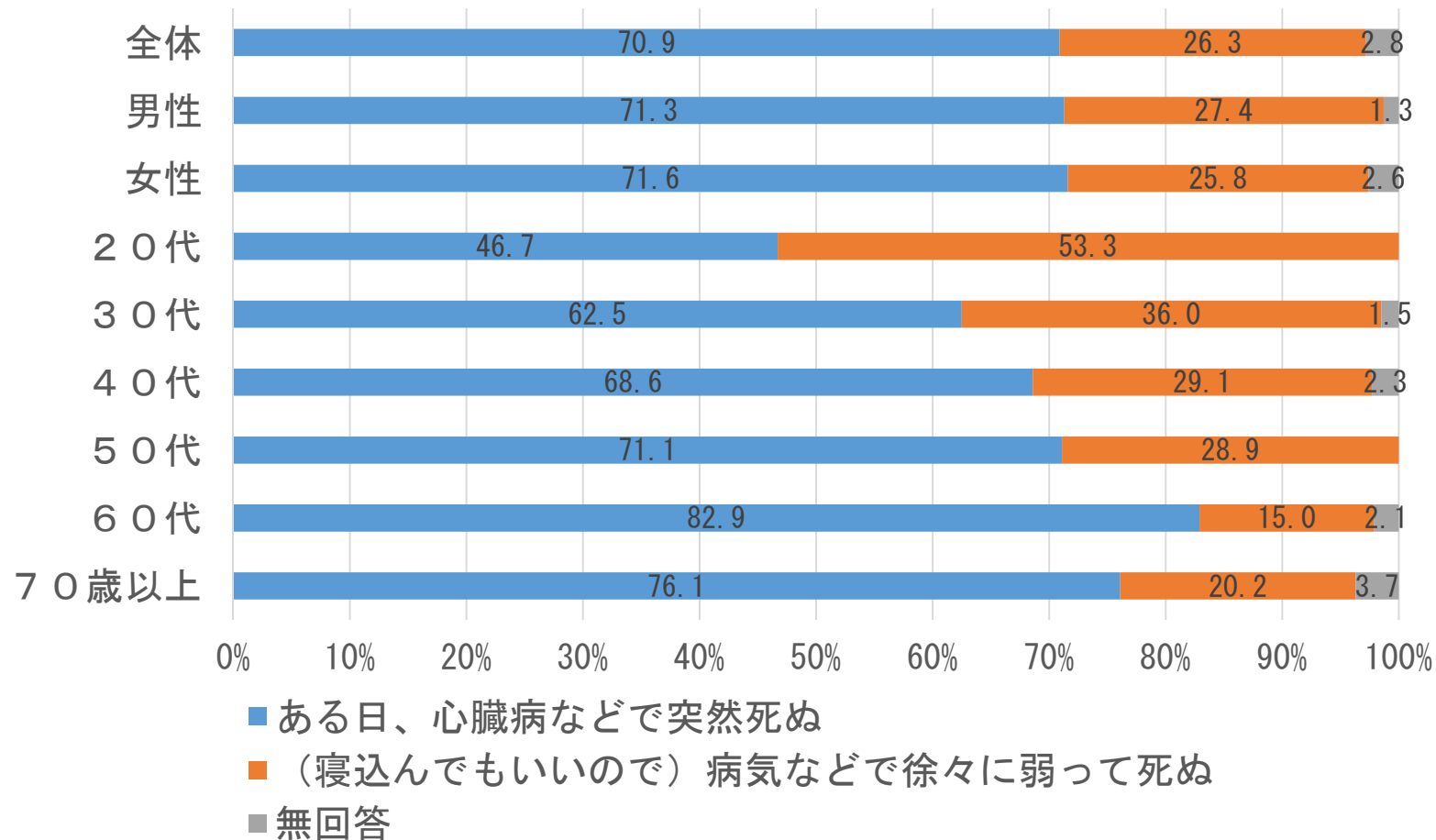
おしりの傷 (会陰創)



人工肛門

# 理想の死に方ーぽっくりか、ゆっくりか

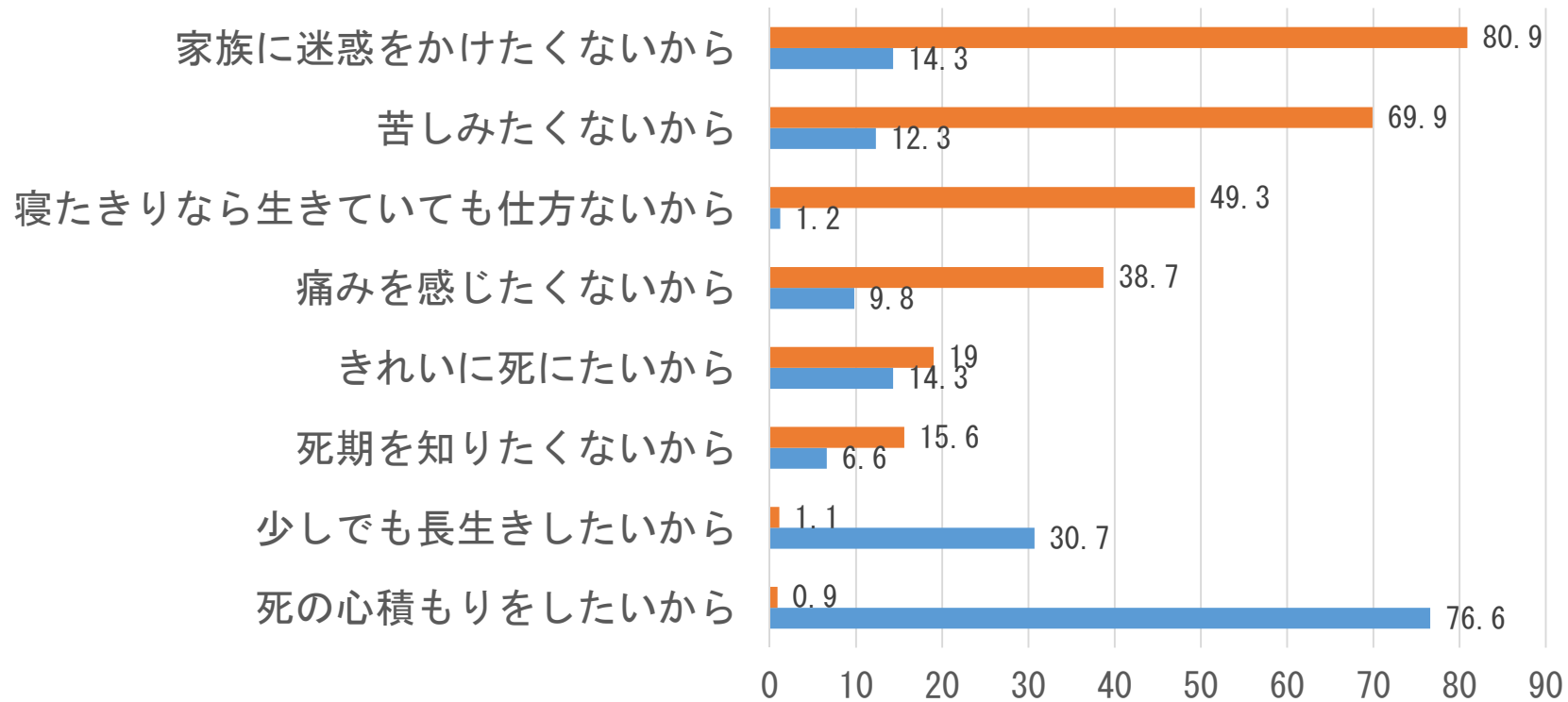
ぽっくり願望のある人は7割を超える。



ホスピス・緩和ケアに関する意識調査 (日本ホスピス・緩和ケア研究振興財団, 2012年)

# 理想の死に方—その理由

ぽっくり派：「家族に迷惑をかけたくないから」「苦しみたくないから」  
ゆっくり派：「死の心づもりをしたいから」



■ ある日、心臓病などで突然死ぬ

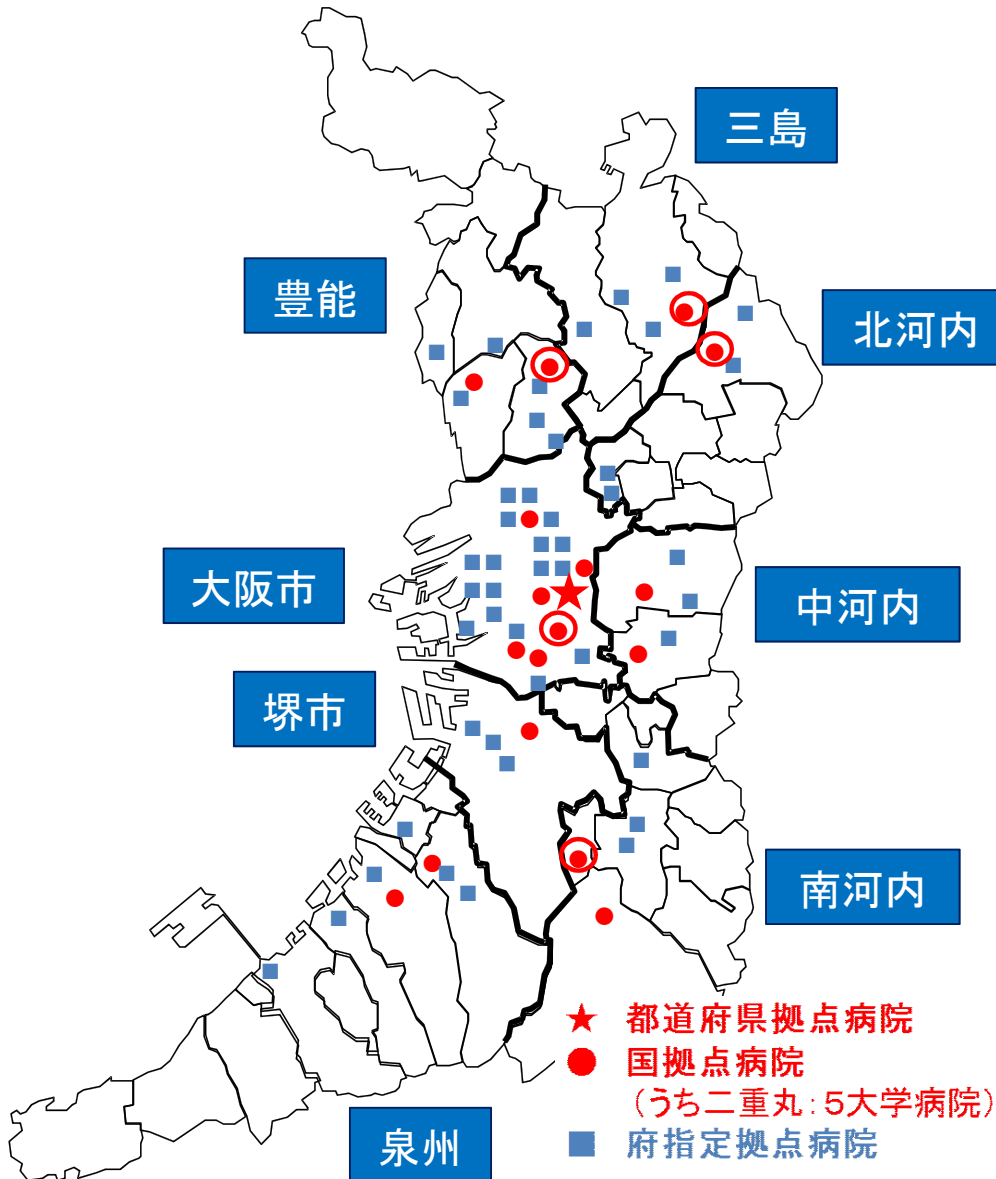
■ (寝込んでもいいので) 病気などで徐々に弱って死ぬ

ホスピス・緩和ケアに関する意識調査（日本  
ホスピス・緩和ケア研究振興財団、2012年）

# がん診療拠点病院の配置状況

(平成27年4月1日現在)

都道府県拠点病院(国指定) 1



二次医療圏	国指定拠点病院	府指定拠点病院
豊能	2	6
三島	1	4
北河内	1	4(+2)
中河内	2(+1)	3(+1-1)
南河内	2	3
堺市	2(+1)	2(-1)
泉州	1	7(-1)
大阪市	5(+1)	17(-1)
合計	16(+3)	45(+3-4)

( )内はH26年度中増減

上記のほか、国指定・小児がん拠点病院として大阪市立総合医療C・府立母子保健総合医療Cが指定されている



# 大阪府がん対策基金(平成24年)

1. 〇〇〇〇〇〇〇〇〇



- 掛替えのない命(ハート)を、がんから守る(愛情:優しい手と花)イメージをストーリー性のある、優しいパステル 画風のデザインで表現
- 誰でもわかり易いシンプルで視認性のあるシンボルマーク

# 企画提案型公募によるがん対策貢献事業

## 【がん対策基金の概要】 府民からの寄附金を活用

- 目的:がんの予防及び早期発見の推進その他がん対策の推進を図る。
- 設置時期:平成24年11月1日
- ふるさと納税を活用した税法上の優遇措置あり

## 団体の活動を助成(H26実績)



### ■がんの予防につながる学習活動

- 大阪南医療センター、ピンクリボン大阪

### ■在宅医療・看護に関する事業

- NPO泉州がん医療ネットワーク

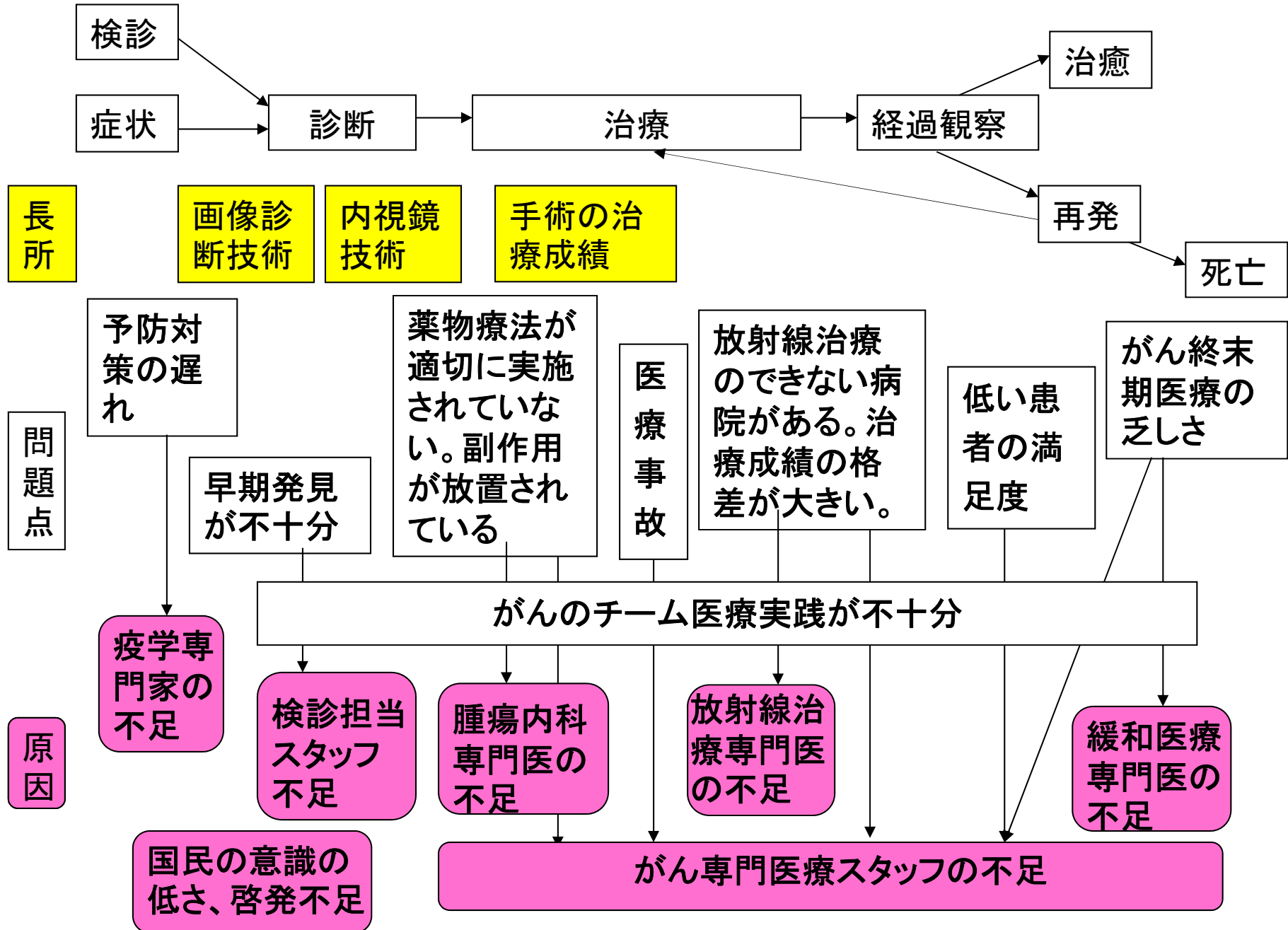
### ■がん患者会活動

- NPO大阪がんええなび制作委員会（リーフレットのリニューアル）
- NPOがんと共に生きる会（広報パンフレットの作成）
- 大阪肝臓友の会（リーフレット作成）
- がん患者サポートの会・ぎんなん（シンポジウム開催）

# 企画提案型公募によるがん対策貢献事業

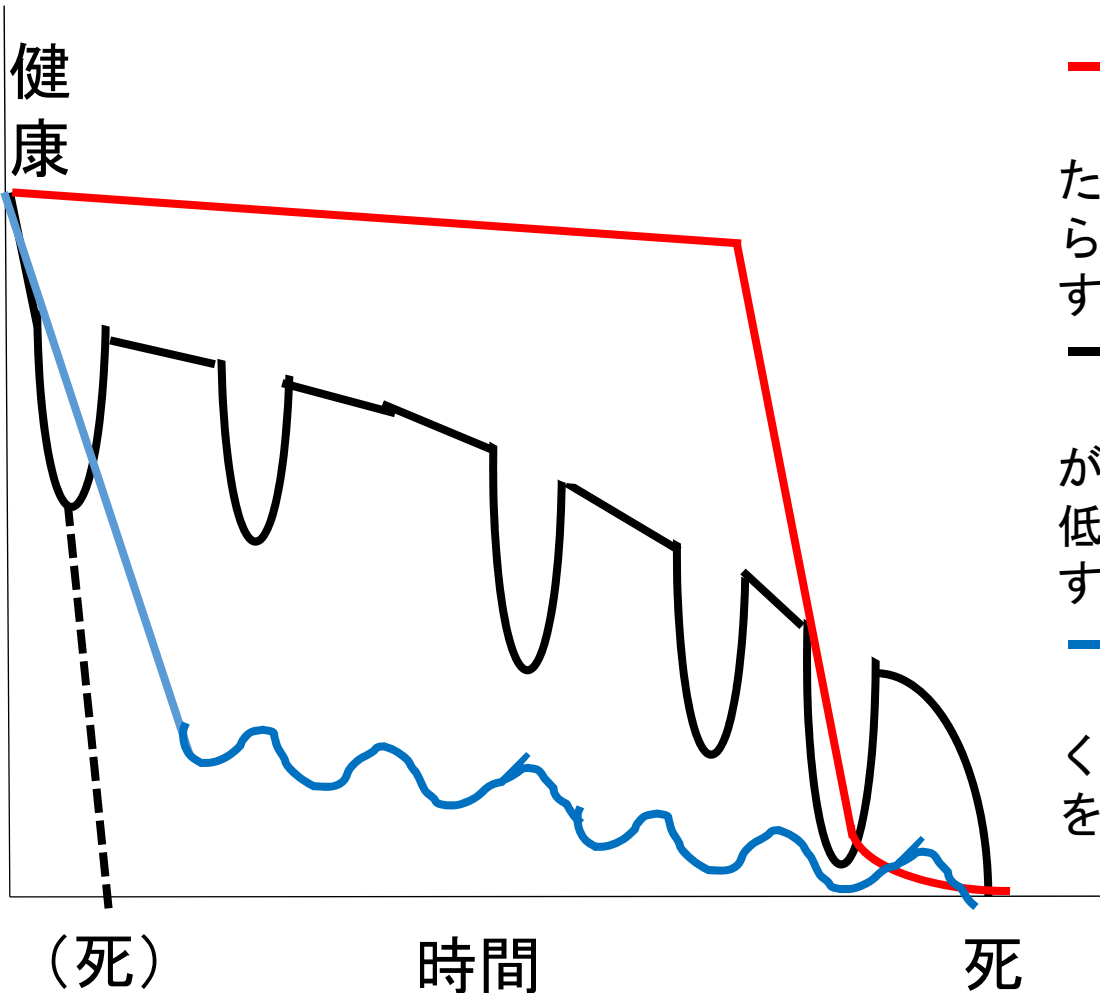
- 平成27年度公募テーマ(27年11月～12月募集実施)
  - がんの予防につながる学習活動 30万円×3団体
  - 若者世代への子宮頸がん検診受診啓発活動  
30万円×3団体
  - がん患者活動 10万円×10団体
- 平成27年度から補助率アップ  
1/2 ⇒ 10/10 会負担なし！

# 背景: 我が国のがん医療では不足している人材が多い



# 病気の終末期の違い

身体  
精神  
機能  
(QOL  
生活の質)



## —がん

比較的長期間、機能は保たれ、亡くなる2ヶ月前くらいから機能が急速に低下する

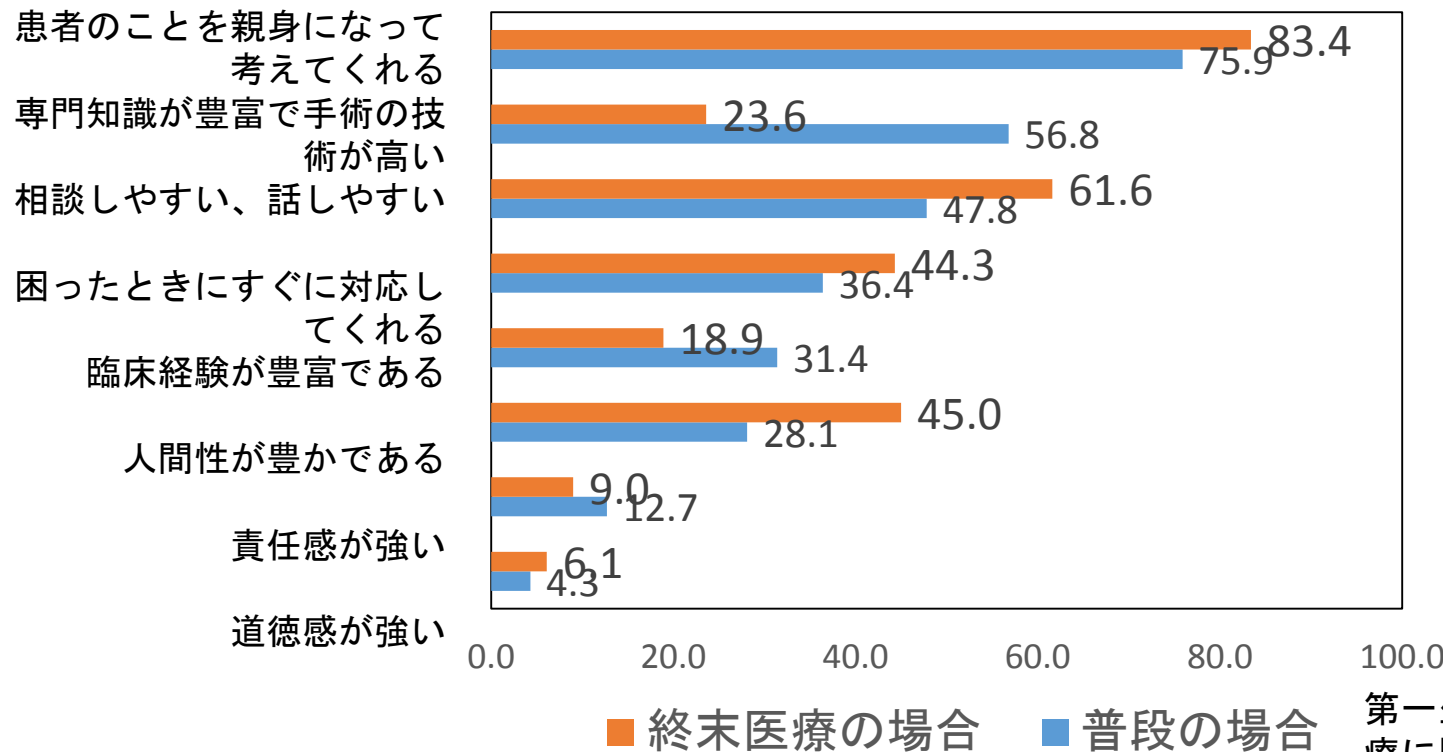
## —臓器不全 (心疾患等)

急に亡くなることもあるが、助かれば徐々に機能が低下し、最後に急速に悪化する

## —認知症、老衰

機能が低下した状態が長く続き、徐々に低下して死を迎える

## 普段と終末医療、それぞれどんな医師にかかりたいか？

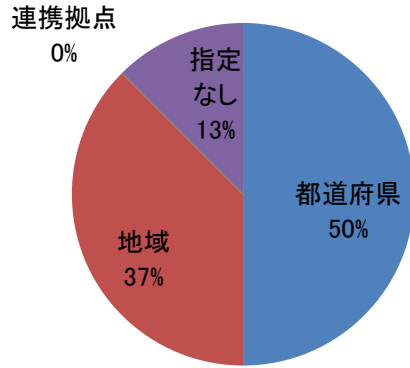


第一生命経済研究所「終末医療に関する意識調査」

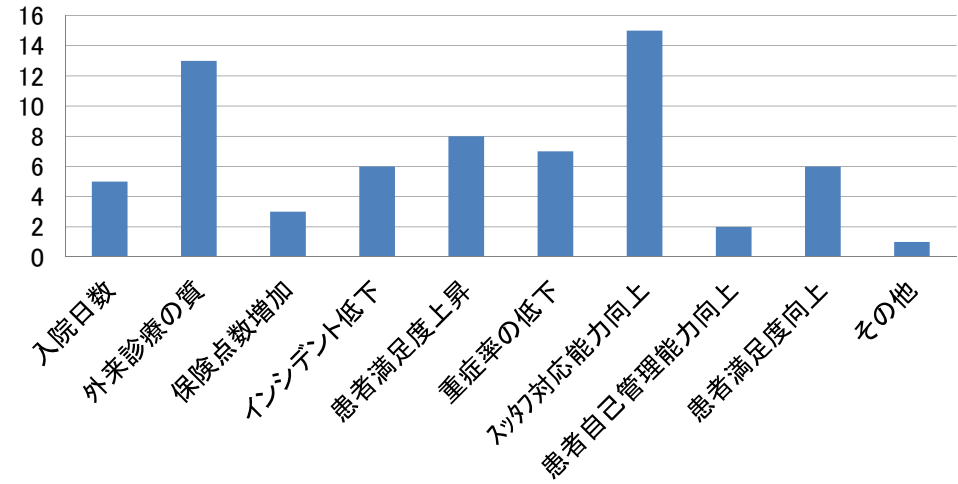
最も多いのは、両者ともに「患者のことを親身になって考えてくれる」医師。普段では、過半数が「専門知識が豊富で、手術の技術が高い」(56%)。終末医療では、「技術や知識」よりも、「人柄」を重視する人が多い。

# がんプロ教育内容の評価(医師コース):勤務先の病院へのアンケート調査

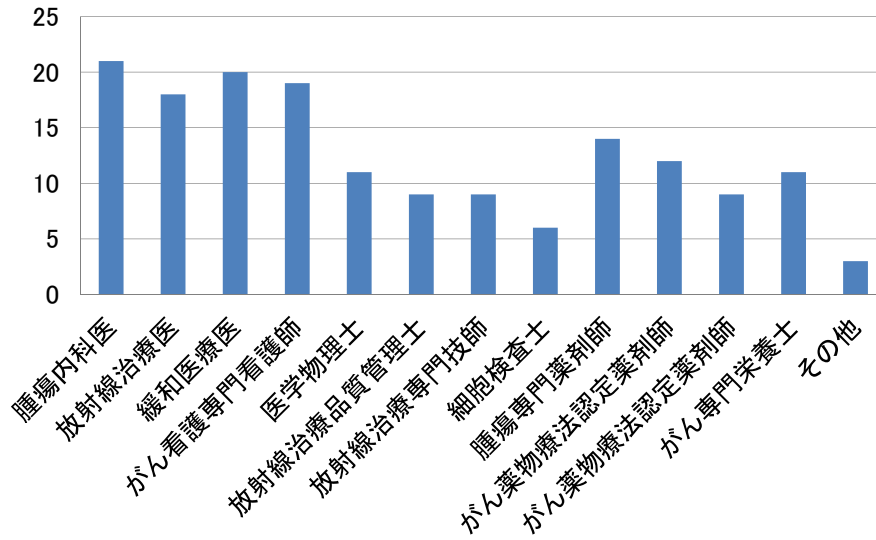
勤務先(連携病院)



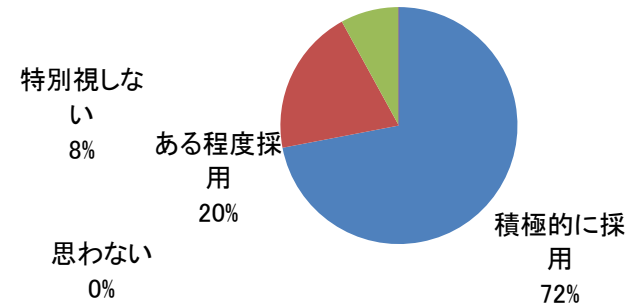
採用による効果



育成重要職種



がんプロ卒業生を採用したいですか



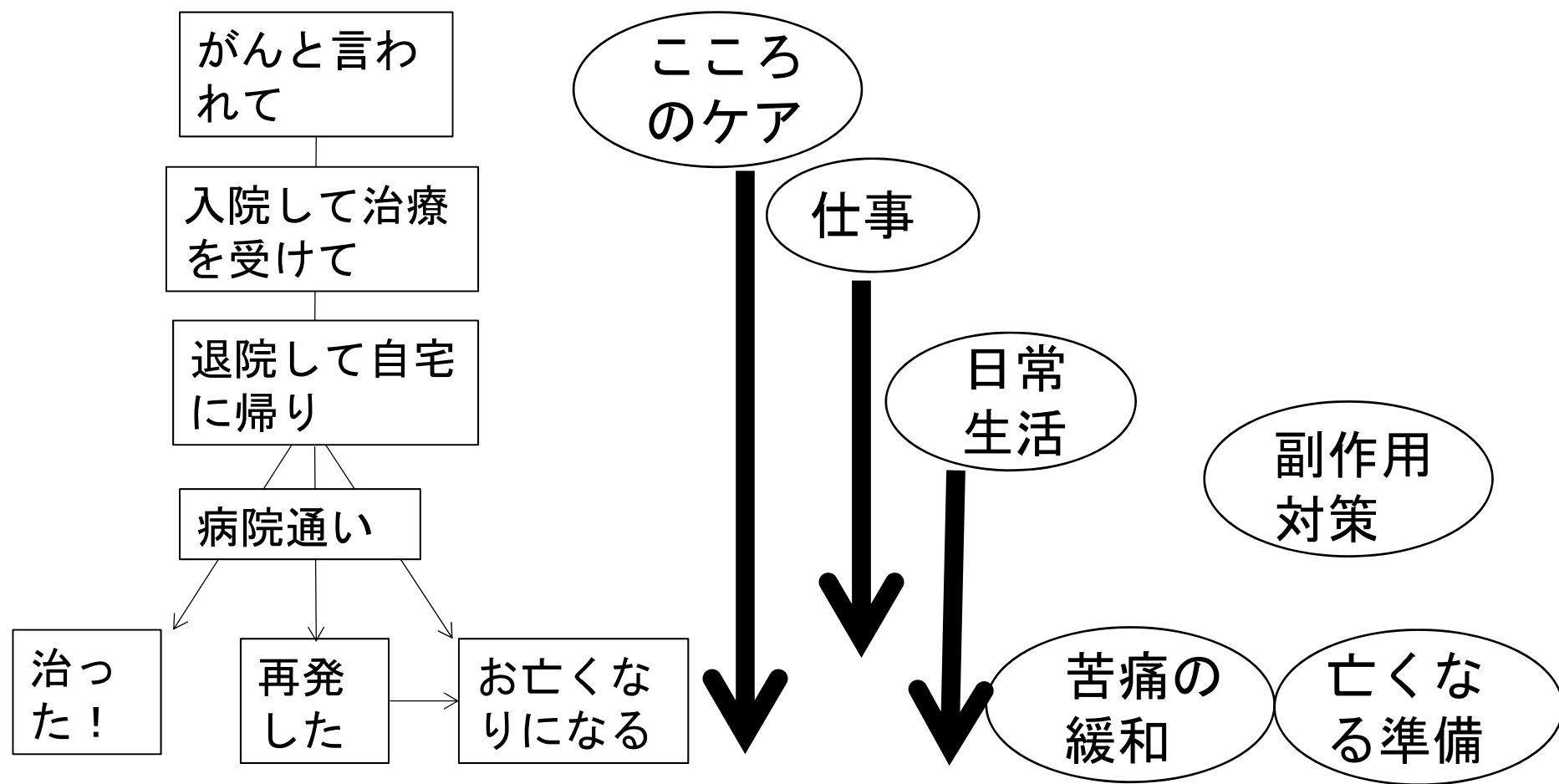
これまでのがんプロ

医療に必要な  
人材を養成



これからのがんプロ

患者さんの生活に  
必要な人材を養成





これまでのがんプロ

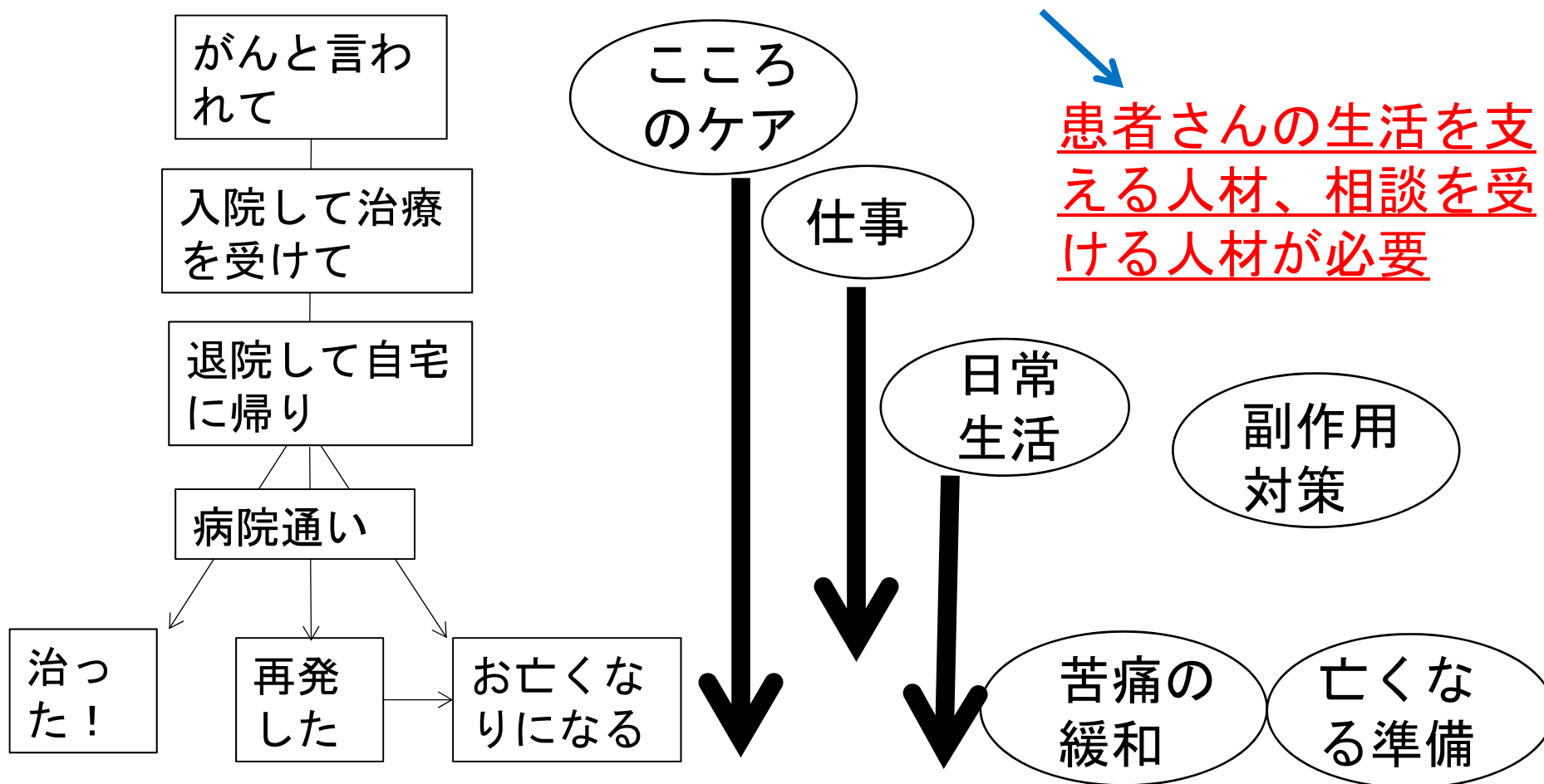
医療に必要な  
人材を養成



これからのがんプロ

患者さんの生活に  
必要な人材を養成

病院でがんを治療して終わればそれで良いのか？



# 「風のかたち」

—小児がんと仲間たちの10年—

日時:平成23年3月20日(日) 開場13:00 開演13:30

場所:大阪大学中之島センター 佐治敬三メモリアルホール

「こどもは、死んじゃいけない人たちだよな…」小児がんはもう不治の病ではありません。

ドキュメンタリー映画  
上映会



子どもがんと向き合う中で、  
仲間と支え合いながら生きていく  
10年間の軌跡を辿る。そして、  
子どもたちと向き合ってきた  
医療者たちの思いと、  
子どもたちから届く声。  
—制作: 佐治敬三メモリアルホール—

参加費  
無料

平野真一演出作品

10年の歳月が、命の尊さ、  
生きる意味をゆるやかに問いかける。  
風のかたち、ほとんどなつかしき。

# 風のかたち

—小児がんと仲間たちの10年—

上映: フォーラム・エッセイ 会場: 中之島センター 佐治敬三メモリアルホール  
上映時間: 10:00-11:00 / 13:30-14:30 / 18:00-19:00

主催: 大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻  
文部科学省がんプロフェッショナル養成プラン

共催: NPO法人チャイルド・ケモ・ハウス  
「チャイルド・ケモ・ハウス」は小児がん治療中の子どもたちとその家族のQOLに  
配慮した日本で初めての専門施設設立を目指すNPO法人です。

入場無料  
18歳未満は100円  
【定員200名】

〈市民公開講座〉

# がんになっても家にいるために

平成22年10月2日(土) 14:00-16:30(13:30開場)

和歌山県勤労福祉会館 プラザホープ4階ホール  
〒640-8317 和歌山県和歌山市下日高町4-1-1 TEL:073-445-3335(代)



市民公開講座「がんになっても家にいるために」  
「がんになっても家にいるために」  
「がんになっても家にいるために」  
「がんになっても家にいるために」

<p>■第1期(14:00-16:30)</p> <p>＜講師＞和歌山県立医科大学 がんセンター がん予防・検診 室長 菅野 善博 【テーマ】安心して療養生活をおくするために～在宅療養を支える資源と制度</p> <p>＜講師＞和歌山県立医科大学 がんセンター がん予防・検診 室長 菅野 善博 【テーマ】がん患者の在宅療養を支える</p> <p>＜講師＞和歌山県立医科大学 がんセンター がん予防・検診 室長 菅野 善博 【テーマ】在宅療養ケアに期待される訪問看護士として</p>	<p>和歌山県立医科大学 がんセンター がん予防・検診 室長 菅野 善博 和歌山県立医科大学 がんセンター がん予防・検診 室長 菅野 善博 和歌山県立医科大学 がんセンター がん予防・検診 室長 菅野 善博 和歌山県立医科大学 がんセンター がん予防・検診 室長 菅野 善博</p>
<p>■第2期(16:40-18:00)</p> <p>＜講師＞和歌山県立医科大学 がんセンター がん予防・検診 室長 菅野 善博 【テーマ】がん患者さんの在宅療養を支えるために～保険給付の活用</p> <p>＜講師＞和歌山県立医科大学 がんセンター がん予防・検診 室長 菅野 善博 【テーマ】住み慣れた自宅で利用する介護保険</p>	<p>和歌山県立医科大学 がんセンター がん予防・検診 室長 菅野 善博 和歌山県立医科大学 がんセンター がん予防・検診 室長 菅野 善博 和歌山県立医科大学 がんセンター がん予防・検診 室長 菅野 善博 和歌山県立医科大学 がんセンター がん予防・検診 室長 菅野 善博</p>

## 和歌山県立医科大学 がんプロフェッショナル養成プラン

和歌山県立医科大学 和歌山県立医科大学 がんプロフェッショナル養成センター TEL:073-441-0825  
和歌山県立医科大学 和歌山県立医科大学 がんプロフェッショナル養成センター TEL:073-441-0801



「地域・職種間連携を担うがん専門医療者養成」  
 2013年連携7大学市民公開シンポジウム  
 「がんとどう向き合うか」

10月15日(火) 14時開演(13:30開場)

会場:大阪大学中之島センター(10Fホール)

(大阪市北区中之島4-3-53 ☎06-6444-2100)

対象:一般市民、医療従事者 150名

参加費  
無料

第1部 基調講演

『がんは一人では立ち向かえない』

塚本けいこさん(落語家六代目笑福亭松喬夫人)

第2部 じゃじゃ!本音バトル

(患者)

患者 VS 医療者

- 辻 恵美子(全がん患者会「がんから患者へ本音を
- 伊坪 良 (全がん患者会「がんから患者へ本音を
- 中村 弘子(乳がん患者会「水琴窟の会」)
- 渡邊 美紀(乳がん患者会「のぞみの会」)
- 山本 ゆき(難治性がん「山本孝史のいのちのバトン」)

VS

(医療者)

- 恒藤 暁 (緩和医) 大阪大学
- 内布 敦子(看護師) 兵庫県立大学
- 岩井 精吾(薬剤師) 神戸薬科大学
- 吉田 真久(消化器内科医) 京都府立医科大学
- 松浦 成昭(大阪大学事業推進責任者)

主催:大阪大学がん研究推進プラン  
 大阪大学・京都府立医科大学・奈良県立医科大学  
 兵庫県立大学・和歌山県立医科大学・大阪薬科大学  
 神戸薬科大学  
 後援:大阪府がん協会  
 京阪中之島線 中之島駅より徒歩約5分  
 阪神本線 福島駅より徒歩約9分  
 JR東西線 新福島駅より徒歩約9分  
 JR環状線 福島駅より徒歩約12分  
 地下鉄四つ橋線 四つ橋駅より徒歩約10分

お問い合わせ先  
 大阪大学がんプロ事務局  
 06-6879-2472

個別相談会 14:00~16:00

(302講義室) 15名程度

参加ご希望の方は

①ご氏名 ②FAX番号 ③電話番号

④相談ご希望のがん ⑤ご質問

を記入のうえ、下記FAX申込書もしくは

往復ハガキまたはEメールにて事前にお申し込みください。

順次、返信致しますのでそれをもって受付完了とさせていただきます。

参加ご希望の方は

(相談時間はおひとり様15分程度)

FAX: 06-6879-2629

Mail: siminkoukai1015@yahoo.co.jp

住所: 〒565-0871

大阪府吹田市山田丘1-7

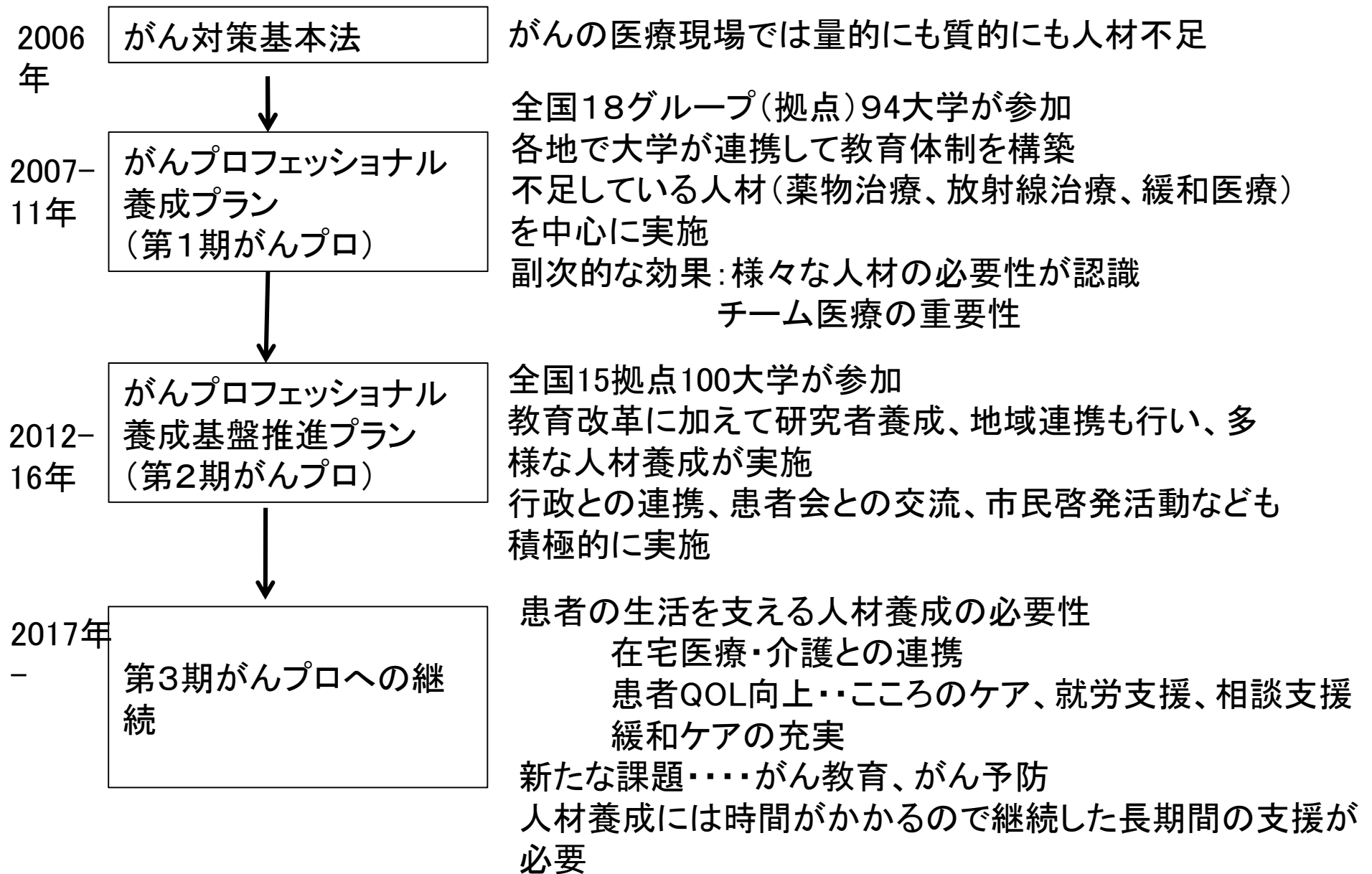
がんプロ事務局  
 個別相談FAX申込書

ご氏名 (カナ)	
FAX番号	
電話番号	
相談ご希望のがん	
ご質問	

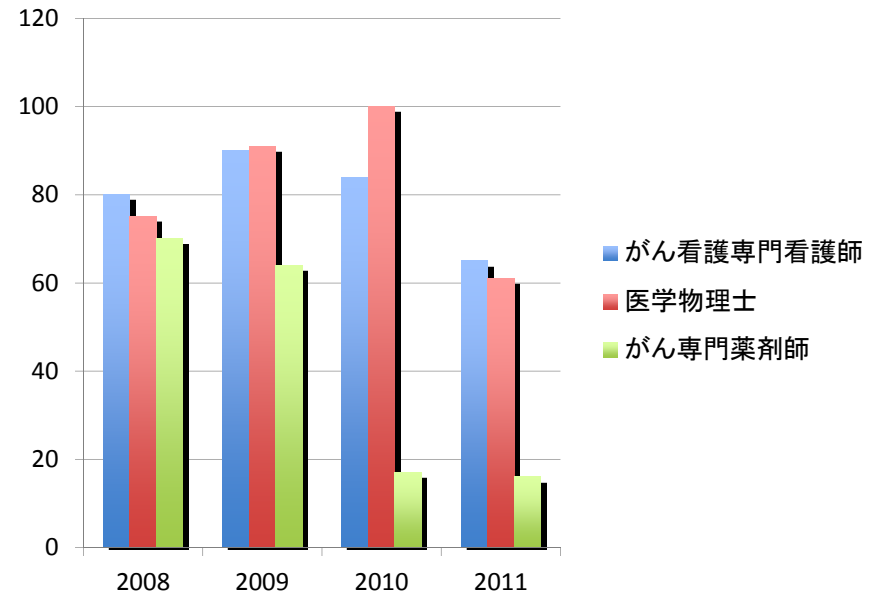
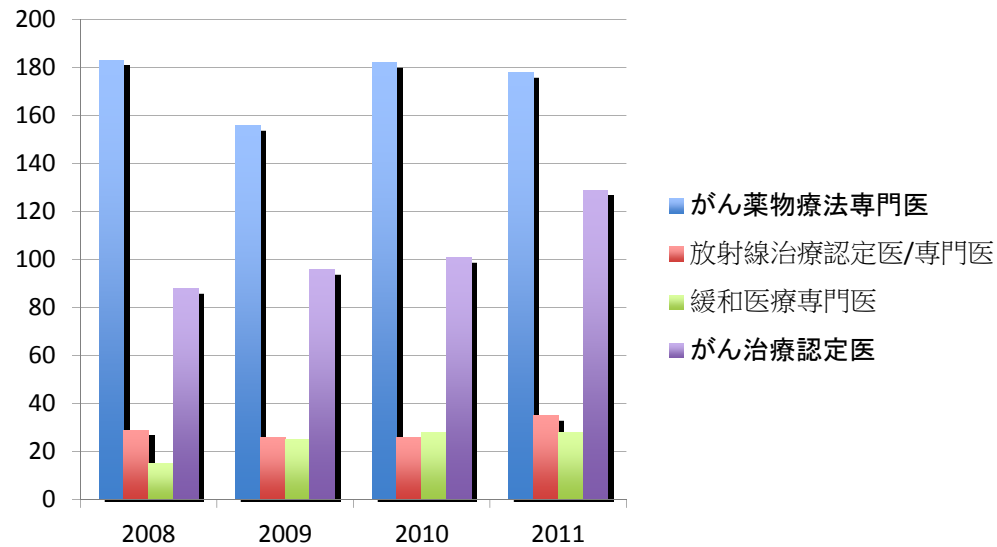
締切: 10月1日(火)

お申し込みいただいた個人情報参加登録のみに使用いたします。

# がんプロの歩みと今後



# 第1期がんプロトータル養成人数



がん薬物療法専門医	699
放射線治療専門医	116
緩和医療専門医	96
がん治療認定医	414
その他	302

合計 1627

がん看護専門看護師	319
医学物理士	327
がん専門薬剤師	167
細胞検査士	27
その他	63

合計 965

「大阪がん患者団体協議会」公開シンポジウム

もっと知ってほしい！

## 患者会のこと、 ピアサポートのこと。

【日 時】 平成26年 **9月21日** (日)

午後**1時30分**～**4時30分** ※午後1時開場

【会 場】 大阪府立成人病センター講堂（6階）

【対 象】 がん患者会に関心のある方ならどなたでも

【参加費】 無料 【定 員】 **140名** (要申込)

### プ ロ グ ラ ム

#### 第1部 基調講演「がん患者会の意義と課題」

大松 重宏 氏 (兵庫医科大学社会福祉学准教授)

#### 第2部 患者会事例発表

- ① 辻 恵美子 (大阪市立大学医学部附属病院がん患者サポートの会「ぎんなん」代表)
- ② 渡邊 美紀 (大阪赤十字病院乳がん患者会「のぞみの会」代表)
- ③ 三木 祥男 (大阪府立成人病センター「口腔・咽頭がん患者会」代表)

#### 第3部 パネルディスカッション

##### 「がん患者会の果たす役割とは～ピアサポートって何？～」

パネリスト： 大松 重宏 (兵庫医科大学社会福祉学准教授)

松浦 成昭 (府立成人病センター総長／大阪大学がんプロフェッショナル  
養成基盤推進プラン事業推進責任者)

撫井 賀代 (大阪府健康づくり課課長)

辻 恵美子・渡邊 美紀・三木 祥男

コーディネーター： 山本 ゆき (「山本孝史のいのちのバトン」代表)

お申込みは  
裏面へ

主 催： 大阪がん患者団体協議会

共 催： 大阪大学がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン

後 援： 大阪府 大阪府立成人病センター



# 「さつき 歌と装いのハーモニー」 に関する報道一覧

## 新聞:

- 2010/5/7 朝刊 産経新聞
- 2010/5/15夕刊 朝日新聞、毎日新聞、読売新聞
- 2010/5/17朝刊 産経新聞、毎日新聞、読売新聞
- 2010/7/13 四国新聞、秋田さきがけ、神戸新聞、河北新報
- 2010/7/14 中国新聞、長崎新聞
- 2010/7/15 岩手日報
- 2010/7/17 熊本日日新聞
- 2010/7/20 愛媛新聞
- 2010/7/22 南日本新聞
- 2010/8/5 日本海新聞
- 2010/8/13 高知新聞



大阪がん医療の向上をめざす会が主催、大阪大学がんプロフェッショナル養成プランが制作協力したイベント「さつき 歌と装いのハーモニー」は、多くの方々の協力のもと開催され、左記のメディアにとりあげられました。

## テレビ:

- 5/18 NHKニューステラス関西
- 5/24 関西テレビローカルニュース番組「FNNスーパーニュースアンカー」
- 5/26 NHKおはよう日本(全国放送)

特製のブラウスを着た乳がん体験者モデル（左から3人目）、バンドナをした咽喉がん患者モデル（同4人目）ら



## がん患者の願い込め

大阪でファッションショー  
がん患者らの願いを込めた衣装を患者自身らがお披露目するファッションショーが16日、大阪市中央区大手前1のドンセンターであった。患者や支援者の8団体でつくる「大阪がん医療の向上をめざす会」主催の「さつき歌と装いのハーモニー」の一環。

患者や遺族、友人、医療関係者ら13人がモデルになり、「小児がん患者のバジャマ」「車椅子患者の外出」など9パターンを紹介。乳がん体験者向けに胸部分をフリルで飾ったブラウス、咽喉（いんとろ）がんの手術跡が残るのどをガードするバンドナなどが紹介される度に、会場の約300人が大きな拍手を送った。

大部分の衣装やデザインの元になった患者らのアンケート結果は後日、「めざす会」のホームページで紹介される

